

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ  
トゥー・ミー

# To Me

12

Dec 2015  
Vol.247

**【今月の表紙】**

第19回東北最大・登米市佐沼  
秋のフリーマーケット  
消防体験コーナーから



ときめき人

永埜 正勝さん

【特集】

きっとダイjob

Zoom Up Tome2015

阿部大夢ほか

2005.4.1～

市制施行  
10周年

これまでも  
これから

「大丈夫。フリーターでも生活できてるし」「どうして就職しなきゃいけないの」  
 厚労省が委託する全国の地域若者サポートステーションを訪れる人の20〜30代は大半者。今、大卒の肩書がない人が、全国で8万人以上にも上るといわれている。  
 「就活が面倒」「働く意味が分からない」という人や、「なぜ、働くのか」、その理由を探して見つからない人も少なくない。  
 フリーターが悪いわけではない。仕事より大切なことだってある。たった一度の人生を、好きなように生きる選択もいいだろう。でも、ほんの少し、先のことまで考えてみては。

人は毎年一つずつ年を重ねる。10年、20年後の自分を想像してみよう。結婚したら、子供が生まれたら、年を取ったらなど、普段より長いスパンで自分の人生を見つめてみると、生活の糧に、家族を養うために、夢を実現するためなどの、自分だけでなく「誰かのために」という気持ちが増えるはずだ。

地方就職という選択肢

昨年、日本創生会議が発表した将来人口予測によると、2040年、登米市の人口は約5万人まで減少すると推計されている。人口減少は、消費・経済力の低下を招き、古里はもとより日本全体にとって大きな負荷になっていく。  
 一方で今、地方での暮らしを選ぶ人が増えつつある。ゆ

とりのある環境で働き、オフも満喫するなど、仕事とプライベートを両立できる働き方を求め、地方就職を選択する人たちがいる。  
 国、地方自治体や民間も地方移住を推進する取り組みを進めている。地方の「まち」に「しごと」をつくり出し、地方への「ひと」の流れをつくる取り組みが動き出している。



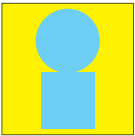

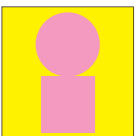
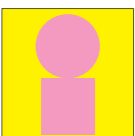
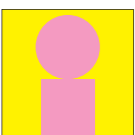


自分の生活を考えることは、古里の未来を考えることにもつながる。あなたの思いや行動が、周囲を元気にしたり、古里を活気づけたりすることもあるのだ。

今号は、登米市で働くことについて考える。これから踏み出そうとしている人も、まだ迷っている人も、人生の選択肢を増やすために読んでほしい「きつとダイjob」。

# 若者の勤労観

ゆとり、さとり世代と呼ばれる若者たち。彼らは仕事に対して何を思い、どんな考えで向き合っているのだろうか。まずは、本音を聞き、認めることがスタートだ。

## 今どきの若者のつづやき

-  **市内20代男性**  
バイトを転々としていた。いつまでもこんではだめだと思って地元の会社に就職したっや。
-  **市内20代男性**  
今の仕事しんどいから、公務員にでもなっかな。
-  **市内20代男性**  
これまで正採用なし。両親が公務員なんで、働かなくてもなんとかなるべ。お金ねぐなったら、モノ売ればいいし。
-  **市内20代男性**  
大学中退して実家さ戻った。家業継ぐごとした。でも、やる気なし。
-  **市内20代女性**  
今の仕事がやりたいことかと言うと自信がない。でも、転職しても同じくらい給料もらえるのかな…
-  **市内20代女性**  
付き合ってる彼氏と結婚する予定。結婚したら仕事したくない。ので、それまではバイトでいいかって。
-  **市内20代女性**  
この仕事はやりがいあるし、上司も認めてくれる。だから、結婚しても続けたい。
-  **市内20代男性**  
就職2年目。最初は、どうかなあって思っていたけど、お客さんにありがとうって言われて楽しくなってきた。
-  **市内20代男性**  
高校卒業後、専門に通っていたけど、それとは違うやりたい仕事を見つけた。親には迷惑かけてるけど、バイトしながら新しい目標に向けて勉強の日々。

### やりたいこと、やりたい仕事

やりたい仕事に就ける人は、「自分は何をしたいのか」「どんな仕事合っているのか」を知っている人です。  
 しかし、多くの人は、適職や天職について考える時間がないまま就職活動を始めます。そして

内定し、社会人生活がスタートします。  
 その結果、いざ仕事を始めたら「こんなはずじゃなかった」と隣の芝生が青く見え、現実とのギャップを感じる人もいます。仕事の楽しさは、遊びの楽しさ

とは違います。「やりがい」から得られるものです。「誰かの役に立っている」とか「社会に貢献している」とか、充実感や幸福感などから生まれるものです。  
 「やりがい」が「やりたい」につながることも少なくないのです。



# ダイ きつとjob

だいじょうぶ

# 登米の就職事情

就職希望の高校新卒者の地元就職率は約4割。合併後、企業誘致で求人数が増えても若者が地元に残らない理由は？

## 求人数増えるも

近年、地方では若年層が大都市へ流出。これにより、地元への就職率が低くなってきている。2014年度県内の高校新卒者の地元就職率は県平均52・3割。本市の就職希望者は205人で、うち83人、40・5割が地元希望者と10ポイント以上、県平均を下回る。県外は45人、仙台市は28人と計35・6割が就職している。

市の持続的な発展に向けては、若者の定住化は必須であることから、合併直後から、工業団地を整備し企業誘致活動を展開。この10年間で、自動車関連産業を中心に11社の企業を誘致してきた。この結果、新たに約400人の雇用を生み出している。しかし、受け皿となる雇用の場は増えていくものの、大きな伸びが見

られない状況が続いている。

この原因としては大きく2つの理由があげられる。一つ目は、昔から登米市は市外からの就職者が多いこと。これについて菅原淳ハローワーク追所長は「登米市は近隣市町からのアクセスがよく、優良な企業が比較的多い地域。このようなことから、栗原市や南三陸町、岩手県一関市から登米市に職を求めてきています。東日本大震災以降は、特に沿岸部からの就職者がふえてきているようです」と語る。

二つ目は、求人と求職がかみ合わない労働需給のミスマッチ。「希望の雇用形態でない」「賃金水準が低い」「企業が求める人材ではない」など、求人があっても雇用につくとは言い切れない。若い年代は、特に事務職やサービス業を好む傾向にあり「製造業離れ

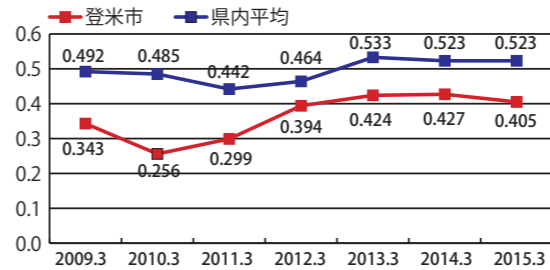
が全国的に進んでいる。

伊藤秀樹市新産業対策室長は「就職率はもちろんですが、幅広い業種に対応していく必要があり、企業と行政が一体となって取り組んでいくことが必要です」と話す。

## キャリア教育による学び

経済情勢や登米市の立地的構造などが、地元就職率の低さにつながる要因となっていた。しかし、それだけではなく、若者たち自身の変化も影響しているのではないだろうか。

近年、大卒者や大学院卒者でも就職が難しくなり、定職に就かない若者が増えている。厚生労働省が15〜24歳の若者を対象に実施した調査で、約4割が働く目的を「楽しい生活をしたい」と回答している。「責任を伴うことはできるだけ避けたい



## 就職を希望する高校新卒者の市内への就職割合の推移

資料：宮城県労働局職業安定部職業安定課（新規学卒者の安定所別職業紹介状況）

## 他市町からの流入

企業の雇用については、当たり前のことですが、景気によって左右されます。08年のリーマンショックの影響で、企業の体力は一気に減退しました。08年度の高校新卒者の市内就職率は25・6割とここ10年で最低の数字となっています。

その翌年に起きた東日本大震災により、建設業を中心に求職率は上向きとなり、現在では40割付近で推移しています。



ハローワーク追所長 菅原淳さん

登米市は、昔から市外からの就職者が多い地域です。近隣の市町からのアクセスがよく、優良な企業も多いため、外からの人気が高いと言えます。このことが、新卒者の就職率を下げている一因だと推測します。また、若い年代は事務職やサービス業を好む傾向にあり、希望の職種が不足していることもあり、外に出るのかもしれない。ハローワークは、再就職だけではなく、幅広い業務を展開していますので、ぜひご利用ください。

## 登米総合産業高3年生「私の進む道」



佐藤祐希さん (電気システム科、錦織2区)

東北職業能力開発大学校への入学が決まりました。すでに進学している兄の勧めもあり、私も同じ学校に行くことにしました。先日まで大学卒業後は、自動車メーカーへの就職を目標にしていました。しかし、自分がやるべきことは、日本工業界の裾野を広げること。目標を変更して工業高校の教師を目指します。



佐藤勝仁さん (情報科、米谷3区)

大崎市の電気部品製造会社から内定をもらいました。機械整備関係の仕事に就きたかったので米谷工高に進学。高2から、コンデンサを使用する授業が多くなったことをきっかけに、その方面の企業に進もうと思いました。「コンデンサ生産量日本一」の企業から内定を貰いました。夢がなくなってうれしいです。



佐々木彩加さん (普通科、迫町八日町)

市内の縫製会社から内定をもらいました。好きなことを仕事にできて、とてもうれしいです。小3の時、姉に教えられたのがきっかけで手芸を続けていました。高校入学後までは、祖母の家に行くことが多かったため、老人を支える介護職に付きたいと考えていました。目標を途中で変えましたが、後悔していません。

「努力や訓練が必要なことはあまりやりたくない」と考えている人が増えていることも分かった（労働者の働く意欲と雇用管理のあり方に関する調査から）。こうした若者の意識の変化には、社会環境の変化が大きく関係していると考えられる。

少子高齢化の進行、核家族の増加、個人主義の風潮の高まりにより、地域付き合いが激減したこと。一昔前であれば、隣近所とは家族同然の付き合いがあった。悪いことをする子どもがいれば、容赦なく怒るおじさんがいた。同年代の友達がたくさんいて、その家族とも仲良く付き合っていた。

普段から大人も、子どもも関係なく日常的に関わっていた。しかし、核家族化が進み、個人主義の風潮により、地域と触れ合う時間は激減した。他人とのコミュニケーションの取り方が分からなくなったのではないだろうか。

このような中、子どもたちの理解力、コミュニケーション能力や情報活用能力などを向上させ、職業観や人生観を醸成することを目的に、キャリア教育が導入されている。市内でも全中学校で実施され、子どもたちからは好評を得ている。また、高校では、企業での職場体験をするインターンシップを実施している。

登米総合産業高校の鈴木琢也校長は「生徒たちが、職業を選ぶ際になかなか答えを出せないのは、実体験の経験値が足りないのかもしれない」と話す。「ある生徒が、夏休みに介護現場で実習し、大きく成長して帰ってきました。それまで介護職は、厳しく大変というイメージを持っていました。しかし、人の命を預かる貴重な仕事だと言うことに気づいたと感想を書いてきました。入浴介助をしたときに利用者から『気持ちよかったです、ありがたう』と言われ『体験してよかった』と言っていました」。このようにキャリア教育の効果は着実に表れている。

## 登米総合産業高校 校長 鈴木琢也さん



本校には「モノづくりをしたいから機械科」に入りたいなど、目的意識を持って入学する生徒が多いです。世間では、若年層の製造業離れが叫ばれています。本校ではあまり考えられない問題です。

むしろ、「どのようなモノづくりをしたいか」というところで、迷う生徒が増えてきているように思えます。現代は、インターネットや携帯電話の普及により、情報があふれています。この情報量の多さで、判断しかねている部分があると思います。

本校では、さまざまな職場を体験するインターンシップを実施しています。実際に体験し、人付き合いをすることで、生徒たちは自分のやりたいことが見えてきています。やはり、生の情報に触れることが、生徒たちを成長させるのだと感じています。



**Profile** ● 1968年 東和町米谷生まれ。佐沼高卒業後、市内の電子機器製作会社に2年間勤務。退職して家業を継ぐ。趣味はドライブと愛車いじり。特技はカラオケ。座右の銘は「日々精進」

20年以上にわたって、地元の若者たちと接してきました。

最近の若い人たちは、ゆとり世代とかさとり世代とかいわれていますが、話してみるとそれぞれきちんと考えを持っています。

SNS時代、フェイス・トゥ・フェイス

のコミュニケーションが減り、おとなしくなったような気はしますが、内面的には昔も今も変わりません。

古里発展には、若い力が必要です。やりがいのある仕事を見つけ、自分のために、古里のために、精一杯頑張っしてほしいです。



1\_23年前に佐藤理容店からリニューアルしたヘアスタジオトーワ  
2,3\_市内で百年以上続く理容店は非常に少ない。店内には、「安床」時代から世の移り変わりを見てきた椅子と陳列棚が並ぶ

「メージできたほど」と笑う。専門学校を1年で卒業。国家試験にも合格し、太白区内の理容店で1年間インターン。翌春、青葉区内の理容店に就職し、腕に磨きかけた。

そんなある日、インターンの先輩から食事に誘われた。そして「(朋幸の)評判は聞いてる。いつまでサラリーマン理容師をするつもりだ」と独立を進められた。理美容業界は独立してこそ一人前。人として、男として尊敬できる先輩の一言が背中を押した。腹は決まった。

独立を決意して真っ先に頭に浮かんだのは実家。「古里は一番の選択肢」と迷わずUターンを決めた。さらに、「仙台で暮らして、あらためて思いました。自分が登米市を好きだ」と。人と人のつながりやコミュニティの結束力は「都会にはない登米の魅力」とも。

こうして92年12月、「佐藤理容店」を「ヘアスタジオトーワ」にリニューアル。両親と三人四脚で新しい一歩を踏み出した。

常連の一人中田町石森長根の阿部萌樹さん(19)は「ここは、父と叔父の行きつけの店。自分も高2から通っています。髪形を変えたいときは親切にアドバイスをしてくれるし、出来上がりも満足です。口数の少ない自分の話を引き出してくれる接客も心地よいです」とにっこり。

お客さんの多様化するお客さんの多様化する



常連の一人 阿部萌樹さん

「やりたい仕事と、やりがいのある仕事は必ずしも一致しない。何に価値観を見いだすが大事。仕事を選択することは、ライフスタイルを決めることでもある。生活の糧としてはもちろん、自分らしく生きていくための手段として考えてほしい。」

2015年9月の迫管内の職種別求人・求職対照表

(単位:人、%、資料:ハローワーク迫)

職種	有効求人数	有効求職者数	有効求人倍率
管理的	11	12	0.92
専門的・技術的	112	78	1.44
事務	50	241	0.21
販売	58	104	0.56
サービス	127	110	1.15
保安	67	13	5.15
生産工程	129	247	0.52

職種	有効求人数	有効求職者数	有効求人倍率
輸送・機械運転	110	79	1.39
建設・採掘	72	63	1.14
運搬・清掃・梱包等	14	121	0.12
その他	14	19	0.74
職業計	764	1,087	0.70
介護関連職業合計	76	50	1.52
福祉関連職業合計	105	64	1.64

\*新規卒者とパートを除く

# 戻るという選択

生まれ育ったこのまちに、Uターン自ら道を切り開き、挑戦し続けるカリススマ理容師。彼が古里登米市を選んだ理由とは？

## 東

和町米谷商店街に百年以上の歴史を誇る理容店がある。「ヘアスタジオトーワ」だ。創業は明治時代。店主の佐藤朋幸さんは4代目。23年前にUターンし、家業を継いだ。

当時の客は、父元明さんの常連さんや朋幸さんの知人、友人だけだったが、現在は、地元米谷地区以外からも多くの人が訪れる。中には、初代「安床」(愛称)時代から代々家族で足を運ぶ常連も。

老舗理容店の跡取りとして育った朋幸さんだが、高校卒業後は市内の電子機器製作会社へ就職した。「若気の至りかな。敷かれたレールが嫌だった」と振り返る。

だが、目標もなく就いた仕事に、やりたいことも、やりがいも見いだせない不完全燃焼の日々が続き、「仕事とは何か、働くこととは何か」を自問自答し続けた。そして、悩んだ末に退職。理容師の道を決意した。

「おれ、理容師になる」両親は何も言わずにうなずいた。「蛙の子は蛙だね。普段、無口な二代目(祖父)の喜ぶ顔を見て、自分までうれしくなった」。

早速、仙台市内の理美容専門学校へ入校。知識と技術を学んだ。「小さい頃、両親に切ってもらった髪形が気に入らなくて、よく観察した。中学時代には、(髪型の基本となる)展開図がイ

## 幸せに必要なこと 30歳になった時の必要な「幸せ」(3つまで選択)

- 1位: やりたい仕事をしていること.....53.1%
- 2位: 好きな趣味をできていること.....42.6%
- 3位: 結婚していること / 家族・子どもに恵まれていること...39.8%
- 4位: 友人に恵まれていること.....38.8%
- 5位: 人より多くのお金を持っていること.....31.4%

an若年層白書2014から



Profile ● 1993年 南方町峯生まれ。佐沼高卒業後、東北大農学部へ進学。本年3月に卒業しすぐに就農した。趣味はバイクツーリングと海釣り。モットーは「倒れるときは前のめり」

平成生まれの私たちは、高度化する情報とともに育ちました。気になることがあればケータイで検索し、欲しいものがあればケータイから買う。大量の情報と豊かな社会の中で、本当に必要なものや価値のあるものを見極める力にやや欠けている世代といえ

ます。ケータイ一つでモノも情報も手に入る時代、都市にできて地方にできないことは、ほぼなくなりました。むしろ、自然、食、歴史、文化などが豊かな地方、中でも古里登米市には、まだまだ潜在能力があり、大きな可能性を感じます。そんな登米市が大好きです。



1\_師であり、サポーターである祖母のまつ子さん。2,3\_登米市の伝統作物「ヒシマメ」。大地さんは、食用だけではなく、種を取るために栽培している

の奥深さに引き込まれていった。「大学を卒業したら就農したい」  
反対する祖父母を押し切って、大学で農業経営を学んだ。進学の際、父から「どこで学ぶかではない。何を学びたいかだ」と言われ、理想とする農業スタイルを学べる学部や研究室を選んだ。

大学では、さまざまな体験をした。農業を生かしたまちづくりや地域おこし、ソーシャルビジネス、市役所のインターンシップなど、いずれも将来の糧となるものばかりだった。4年の途中からは、母の実家、東和町米川の休耕地を復活させ、野菜の作付けを始めた。荒れ地を耕し、土づくりから取り組んだ。

「失敗は成功への近道」がモットー。考えるより行動し、失敗からたくさん学ぶ。これが成功の秘訣だ。

ことを学ぶのが大地流。やらねばならないことは山ほどあったが、「つらいと感じたことも、苦しいと思ったこともない」と笑う。かつて、就農に反対した祖父母は師となり、サポーターとなって支えてくれる。50年の農業経験から学ぶことは大きい。こうして大地さんは、自然と向き合い、土と共に生きる自給自足のライフスタイルを手に入れた。

大地さんが育ててきたものは野菜だけではない。人や地域とのつながりも財産だ。「各種活動で行政や市内の人たちとつながった。母の実家の畑を耕したことで、米川の人たちともつながった。「多くの人に支えられ、今の自分がある」と感謝を忘れない。

最近、キャリアアセミナーなどの講師に招かれる機会が増えた。「情報過多の時代、生の声を聞くことで、若い人たちが、職業選択や生き方を選ぶきっかけになれば」と自身の経験をあますことなく伝えていく。「好きなこと、やりたいことをとことん追求すると、お金より大切なコトやモノが見えてきます。逆に、気になることや納得できないことを徹底的に掘り下げてみると、興味や関心が高まって、それをきっかけに天職と出会うこともあります」。

将来は、市の伝統野菜にこだわった園芸と山に放牧しての畜産、そして林業との複合経営を考えている。「自分のためだけにじゃなく、古里のために働きたい」ときっぱり。郷土愛は高校時代と変わらない。

郷土愛と情熱で古里の大地を切り開き理想のライフスタイルを手に入れた大卒農業男子を追う

# 古里で夢を

南方町峯出身の農業男子鎌田大地さん(23)。

東和町米川にある60坪の畑に、レタス、ハクサイやニンジンなど80品種を作付する。そのうち12品種は登米市の伝統野菜。稲作中心の登米の農業に新しい風を起している。

農業は高校時代からの夢。土と共に生きる暮らしに「幸せです」とほほえむ。「プロ野球選手が夢だった。南方小・中時代はチームの中心で活躍。だが、自身の成長とともに「プロを目指すには実力も努力も足りない」と気付いた。

佐沼高2年の進路選択で大学進学を希望。卒業後は「登米市で働きたい」と心に決めた。長引く景気の低迷

や加速する人口減少に、「大好きな古里まで廃れてしまふのでは」と不安になり、「とにかく登米市を元気にしたい」と思った。

実家は農家。小さいころから、祖父母が作るおいしい米や野菜が大好きだった。その姿から「農業をやりたい」と思った。祖父母に伝えると「農業では食えないから、やめたほうがいい」。農業一筋に生きてきた祖父母の一言は衝撃だった。「やめろ」と言われ、逆に興味が増した。「どうすれば高く売れるのか」「楽に作業できる方法はないのか」

など、次から次へと疑問がわき、本を読んだり、文献を開いたりして勉強した。農業を知れば知るほど、そ

11月5日にキャリアセミナーを受講した中田中1年の皆さんに感想を聞きました。



只野一騎君

将来はプロ野球選手になりたいです。話を聞いた中では、消防士に興味を持ちました。命や財産を守って感謝される仕事だからです。でも、夢は野球選手なので、練習だけではなくあいさつなどをしっかりしたいです。



佐藤理乃さん

保育士の話に興味を湧きました。これまで、子どもたちと遊んでいけばいいと思っていました。それは私の間違いで、子どもたちにものを教えるために、勉強や努力をしていることが分かりました。



及川正貴君

動物に関わる仕事がしたいと思っていましたので、獣医師の話を選びました。先生は、「DREAMS COME TRUE」夢と自分の気持ちを強く持つことが大切と話してくれました。それを忘れずに、頑張っていきたいです。



及川結生さん

キャリアセミナーに参加して、幼稚園教諭か保育士になりたいと思いました。前から興味を持っていましたが、詳しく話を聞いてやっぱりこれだと思いました。そのためにも、今できることをしっかり頑張ります。



只野瞬君

まだ、将来どんな仕事をしたいかは考えていません。講師が教えてくれた「ポコポコ」というイタリア語が心に残っています。自分のやりたいことを見つけてために、いろんな職業の人たちの話を聞いてみたいです。



小野寺幸歩さん

将来何になりたいか決めていませんでした。私は犬が好きなので、トリマーの仕事が気になりました。今日聞いた話で心に残ったのは座右の銘を持つことです。苦しいときには、好きな言葉を思い出して頑張ります。

# 行政、企業に聞く——市内就職に必要なこと



登米市役所産業経済部新産業対策室  
室長 **伊藤秀樹**さん

## これまで展開してきた事業を より充実させ若者定住目指す

これまで、若い年代の雇用の確保に向けて、企業誘致など各種施策を展開してきましたが、求人と求職のミスマッチなど、なかなかその状況は改善できていませんでした。

現在、このような現状を打破するために「登米市商工観光振興計画」の策定に向けて準備しているところです。この中で企業誘致については、これまでの自動車関連産業を基盤に、製造業だけではない、新たな分野の企業の誘致を視野に入れています。また、誘致する団地については、長沼第2工業団地と登米インターチェンジ付近への整備を進めます。求人と求職のミスマッチの解消に

向けては、地元高校卒業者だけでなく、県内外の大学へ進学した学生やU・J・Iターン者をターゲットに人材確保支援を展開。若者の定住化と企業を支援していくことを予定しています。

これまで市内企業約30社の参加で実施してきた企業ガイダンスも、より現状にあった形のものに充実させていくことを考えています。

雇用に関連した条件整備は、若者の定住化に向けた施策の一部です。住環境や子育て支援、教育分野など、市組織の垣根を越えて総合的な施策を展開していき、若者の定住化を図っていきます。

## 企業、行政が一体となった 中途採用者の受け入れ体制

これまで、LED応用製品などの電子部品製造を主としてきましたが、新たに自動車用ランプ製造を追加。この新事業追加をきっかけに、工場を中田町宝江から、迫町北方へ移転しました。

社員の採用は、リーマンショック後、年に1人程度でしたが、本年は5人採用し、全員が市内在住者です。今後も、同程度の人数を毎年採用していきたいと考えています。

中途採用については、昨年から実施しています。新たな事業を追加したことにより、生産ラインの工程設計、設備製作、設備保全など生産技術分野の技術者不足により、即戦力

となる技術職が必要となったからです。中途採用も、計画的な採用を考え、できれば市内在住、出身者にきてもらいたいと考えています。現在募集は、ハローワークからしか発信していませんが、より優秀な人材と登米市出身者に来てもらえるよう、募集の間口を広げたいと考えており、Uターン希望者などの受け入れも視野に入れています。

東京などの大都市圏で採用説明会をできればよいのですが、単独での開催は厳しい状況です。そこで、市や県など行政と、市内企業の合同開催にすれば、それぞれにメリットがあるものになると考えています。



株式会社スタンレー宮城製作所管理部  
部門長 **山内洋人**さん

「今どきの若者は」  
昔から、大人が、若い世代に物足りなさを感じたときという言葉だ。決して悪い言葉ではない。期待しているからこそその一言だ。  
ゆとり、さとり世代と呼ばれる若者世代と親世代の一番の違いは、デジタル世代とアナログ世代の違い。コミュニケーションの手法や情報発信の仕方に大きな違いがある。豊かさを求めて、バリバリ働くことが美徳だった親世代に対し、豊かな時代に生まれた若者たちの多くはハンゲリーを美徳としな。どちらかと言えば、人の役に立ったり、誰かに必要とされたりすることに喜びを感じ、「ありがとう」の一言を大きな活力としている。デジタル世代だからこそ、アナログな感謝の気持ち

ちが琴線を刺激するのだろうか。  
「ケータイはコミュニケーションツール」そんな若者世代のライフスタイルを「みとめ」「うけとめ」ることが大事だ。ゲームも、ラインやツイッターなどのソーシャルネットワークサービスも、相手がいてこそ成り立つもの。若い世代は、人とのつながりを求めている。  
取材を通して、若者世代の考えや生き方を知ることができた。共通していたことは郷土愛。地元においても、よそで暮らしても、彼らの心の中には、いつだって古里がある。地元への定着率や就職率を上げることは地域発展には欠かせない。だが、地方の人間にとって「都会への憧れ」は、シンドロームのようなもの。止めようとしても止まるものではない。ならば、「ひきとめ」ず、どっどっど都会でスキルアップしてもらおう。そして、一回りも二回りも大きくなって戻ってきてもらおう。外から古里を見つめることで、あらためてその価値や魅力に気付くことも少なくないはず。  
魅力ある登米市の職を学ぶ。市外にいても地元の情報を手に入れられる。仕事はもちろん、結婚、生活などあらゆる角度から登米ライフをサポートするシステムがTターンだ。働く場所ではなく「生きる場所」としてU・J・Iターン者を応援する。  
若い世代の力は、古里の宝だ。地域、企業、行政が一体となって、Tターンを実現しよう。登米ならきつと大丈夫！

## Tターンの ススメ

みとめる、もとめる、うけとめる  
地域、企業、行政が一体となった  
受け皿づくりを



**佐々木華奈**さん  
仙台市在住  
(迫町鉄砲丁出身)

### ソフトバンク株式会社に勤務

2011年に佐沼高校を卒業後、県内の大学に進学し、今年4月に入社しました。技術系の部署に配属され、携帯電話基地局の電波測定の積算などを担当しています。入社前、販売促進部門を希望していた、そちらの勉強をし準備していたので、配属先を聞いて驚きました。

就活の時は「ケータイ」をフルに活用

### ケータイで就活

していました。志望する会社を調べるにも、ケータイで検索。検索ワードにヒットしない場合、自分の候補から外します。これは私だけではなく、大学生の就活の当たり前です。

親からは「いずれは地元」と言われますが、まずは今の会社でしっかり仕事を頑張っていきます。

## 登米市出身 若者に聞く

## 都市部で 仕事を

### 都内に登米の情報を

県内の大学を卒業後、2014年に上京し、不動産関連の会社に入社しました。その会社には1年在籍退職、現在は精肉を配送する物流会社で、在庫管理などを担当しています。こちらは家賃が高いので、地元と大学時代の友人と一軒家を借りて共同生活しています。

私の家では、祖父と父が会社を営んで

### 関東総業株式会社に勤務

おり、近い将来Uターンする予定です。家業を継ぐ前に、違う世間や職業を体験したかったので、上京しました。

共に暮らす友人も、地元に戻りたいと言っていますが、東京にいと登米市の就職情報はなかなか入ってきません。常に情報が入る環境になれば、Uターンしやすいと思います。

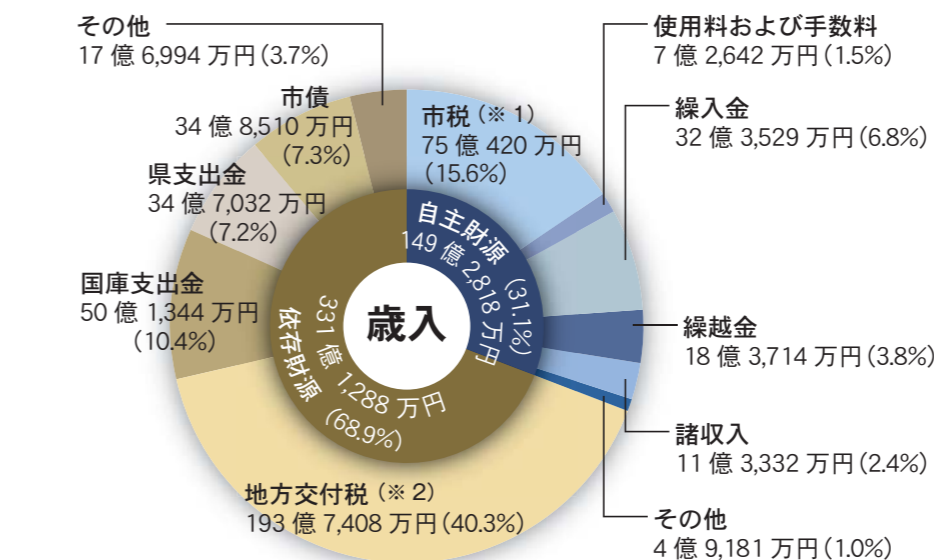


**野家魁**さん  
東京都在住  
(中田町本町畑中出身)

# 決算報告

市では、市の財政状況を随時皆さんにお知らせしています。皆さんが納めた税金が、この1年間でまちづくりにどう使われたのか、一般会計を中心に、概要をお知らせします。

## 一般会計歳入総額 480億 4,106万円



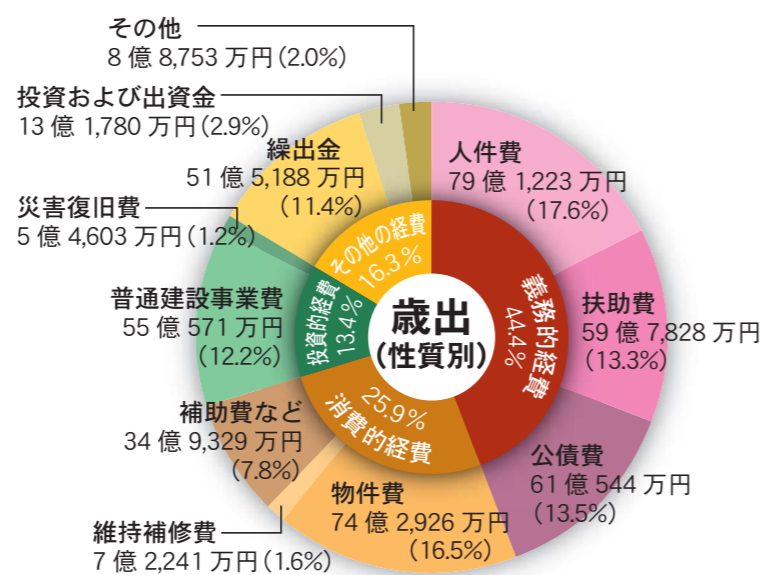
(※1) 市民税 32億 5,360万円(6.8%)、固定資産税 33億 3,998万円(6.9%)、軽自動車税 2億 3,240万円(0.5%)、市たばこ税 6億 7,747万円(1.4%)、鉱産税 9万円(0.0%)、水利地益税 66万円(0.0%)  
 (※2) 普通交付税 178億 7,266万円(37.2%)、特別交付税 12億 2,918万円(2.5%)、震災復興特別交付税 2億 7,224万円(0.6%)

■表1 会計別決算状況

会計名		歳入決算額	歳出決算額	差引額	
一般会計					
一般会計		480億 4,106万円	450億 4,986万円	29億 9,120万円	
特別会計	国民健康保険	110億 2,182万円	104億 4,078万円	5億 8,104万円	
	後期高齢者医療	8億 43万円	7億 9,026万円	1,017万円	
	介護保険	84億 1,429万円	83億 1,277万円	1億 152万円	
	土地取得	2億 2,026万円	2億 2,025万円	1万円	
	下水道事業	44億 410万円	43億 4,256万円	6,154万円	
	宅地造成事業	3億 2,963万円	2億 3,352万円	9,611万円	
企業会計					
企業会計	水道事業	収益的収支	26億 4,758万円	26億 2,244万円	2,514万円
		資本的収支	9億 8,730万円	18億 8,116万円	△ 8億 9,386万円
	病院事業	収益的収支	71億 8,661万円	85億 1,634万円	△ 13億 2,973万円
		資本的収支	12億 8,738万円	13億 9,833万円	△ 1億 1,095万円
	老人保健施設事業	収益的収支	3億 7,059万円	4億 4,342万円	△ 7,283万円
		資本的収支	-	4,342万円	△ 4,342万円

■表2 平成26年度決算に基づく健全化判断比率

指標名	内容 (標準財政規模に対する割合)	健全化判断比率	基準値 (平成 26 年度)	
			早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	一般会計の赤字額の大きさ	-	11.85	20.00
② 連結実質赤字比率	公営企業会計を含む赤字額の大きさ	-	16.85	30.00
③ 実質公債費比率	借金の返済に充てた額の大きさ	10.6	25.0	35.0
④ 将来負担比率	将来負担すべき借金などの大きさ	51.7	350.0	-



## 困難乗り越えて受賞

### 県農林産物品評会で評価

平成27年度の県農林産物品評会(県主催)で、本市の山内勉さん(中田町森六荒谷、写真左)と高橋龍一さん(迫町板橋、写真右)が、野菜部門と林産物部門でそれぞれ農林水産大臣賞を受賞し10月26日、市役所へ受賞報告に訪れました。

品評会には、山内さんが「キュウリ」、高橋さんが「生シタケ」を出品。審査では高い栽培技術と品質の良さが評価されました。山内さんと高橋さんは「不安定な天候や放射能の風評被害を乗り越えての受賞は本当にうれしい。今後も消費者の皆さんにより良いものを届けられるよう頑張ります」と笑顔で語りました。



2人とも農林水産大臣賞の受賞は2回目。生産技術は県内でも指折りの高さを誇り「食材のまち登米市」を大いにアピール。

## 心を合わせて堂々と

### 全国女性操法大会に出場

第22回全国女性消防操法大会は10月15日、神奈川県横浜市の横浜市消防訓練センターで開催されました。県代表として出場した登米市女性消防隊は、出場順24番中20番目に出場。厳しい訓練の成果を全国の大舞台で発揮し、46チーム中15位と優秀な成績を収めました。

鈴木すず江隊長は「目標である優勝を果たせなかったのは残念ですが、半年間の訓練の成果を出せました。この大舞台に万全な体制で望めたのは、消防団や職員の皆さん、家族、支えてくれた全ての人たちのおかげです」と隊を代表して感謝の気持ちを述べました。



高まる緊張と大きなプレッシャーをはねのけ、いつもどおりの操法を見せた選手たち。火消し女子の気概を見せてくれました。

## 現実的な想定に緊張

### 県原子力防災訓練を開催

県と東北電力女川原子力発電所30\*。圏内の本市を含む7市町(登米市、石巻市、東松島市、女川町、南三陸町、美里町、涌谷町)は10月30日、放射性物質漏れ事故が発生した場合に備えた原子力防災訓練を実施しました。

訓練は、宮城県沖地震で女川原発の2号機から放射性物質が漏れ出したとの想定で実施。県と7市町、警察、自衛隊など75機関約2万8千人が参加、屋内退避や避難住民の放射性物質の検査などを訓練しました。訓練に参加した阿部洋一さん(豊里町横町)は「みんな緊張感を持って参加していた」と話しました。



本市豊里町と津山町をはじめ、関係市町から約100人が中津山公民館へ避難。訓練では防災行政無線や車両広報なども実施。

## 地域に感謝の気持ち

### シルバー人材が奉仕作業

毎年10月第3土曜日は「シルバーの日」。市シルバー人材センター(高橋兵衛理事長)では今年の「シルバーの日」となる10月17日、長沼フットピア公園の清掃作業をボランティアで実施しました。

奉仕作業には会員約200人が参加し、公園内の低木の剪定や除草、ゴミ拾いなどをしました。佐々木けい子さん、浅野忠子さん(共に迫町古宿)、櫻井邦子さん(迫町永田)は「これは、お世話になっている地域への恩返し。すがすがしい天気の中で恩返しできてうれしい。ほかの地域のシルバー会員と交流もできるので毎年楽しみにしています」と笑顔で話していました。



さわやかな秋晴れの下、作業に精を出すシルバー会員たち。作業終了後は、芋煮会をして交流を深めました。

## 豊かな自然を未来へ

### 森林づくり植樹祭を開催

市民参加の新たな森林づくり秋・植樹祭(登米市・宮城県・米川生産森林組合共催)は11月5日、東和町西綱木地内の米川生産森林組合有林で開催。この事業は、県の「みやぎ環境交付金」を活用し実施しています。

当日は一般参加者のほか、米川小みどりの少年団や林業関係者など約170人が参加。0.25㍍の敷地に、500本のヤマザクラの苗木を植えたり、ドングリの種をまいたりしました。植樹祭に参加した千葉咲花さん(米川小6年)は「植樹はすごく疲れたけど楽しかったです。私は自然豊かな米川が大好き。この素晴らしい自然をずっと残していきたいです」と話していました。



当日は好天に恵まれ、順調に植樹を終了。植樹後は、米川小校庭で新米おにぎりときこの汁で自然の恵みを堪能しました。

## フランス流の「市場」

### 大網地区でマルシェ開催

第2回おおみミンミンマルシェは10月17日、おおみテラスを主会場に開かれ、多くの来場者でにぎわいました。

マルシェとは、フランス語で「市場」という意味で、生産者や販売者自らが店頭販売することを呼びます。フランスのパリが発祥地ですが、近年、国内でも農家や生産者グループが集まって、数多く開催されています。マルシェ内に開設されたCafeつむぎを訪れた菅原志恵さん(東和町米川8区)は「ここに来るのが目的でした。マルシェは食べ物だけではなく、いろいろなものがあって楽しいですね」と話していました。



新鮮な農産物や手作り雑貨、カフェなど多くの種類の店が並ぶマルシェ。売り手と買い手の距離の近さも魅力の一つです。



## 医療局職員

### ■職種、採用予定人員など

募集区分	採用予定人員	受験資格
看護師	7人程度	(免許保有者)昭和41年4月2日以降生まれた人 (免許取得見込者)昭和51年4月2日以降に生まれた人で、平成28年3月31日までに卒業見込みで免許取得見込みの人
臨床検査技師	1人程度	臨床検査技師の免許を持つ人、または平成28年3月31日までに卒業見込みで免許取得見込みの人

※ 採用予定人員は、現時点での予定で今後変更することがあります。  
 ※ 採用は平成28年4月1日(免許取得見込みの人は5月1日)の予定です。ただし、免許を持つ人は平成28年4月1日以前に採用する場合があります。

**■受験申し込み** 申込書は、平日の午前8時30分から午後5時15分まで医療局総務課で、平成27年11月24日(火)から配布します。郵便で請求する場合は、封筒の表に「応募職種名」、「採用試験申込書請求」を朱書きし、宛先を明記し120円切手を貼った返信用封筒(A4版が入る大きさ)を必ず同封してください。詳細は、市ホームページにも掲載します。

**■受付期間** 平成27年11月24日(火)～12月11日(金)  
 ※申し込み受け付けは平日の午前8時30分から午後5時15分までとし、郵送の場合は受付期間中の消印のものに限ります。

### ■試験日程

	日 程
試験日	平成27年12月20日(日)
会 場	登米市民病院 地域医療連携センター2階 多目的ホール
試験内容	小論文試験(1時間)、人物試験、健康診断、資格調査
合格発表	平成27年12月25日(金) 市ホームページに受験番号を掲示し、受験者に郵送で通知します

**【申し込み・問い合わせ】**  
 医療局経営管理部総務課  
 〒987-0511  
 登米市迫町佐沼字下田中25番地(登米市民病院内)  
 ☎0220(21)6888

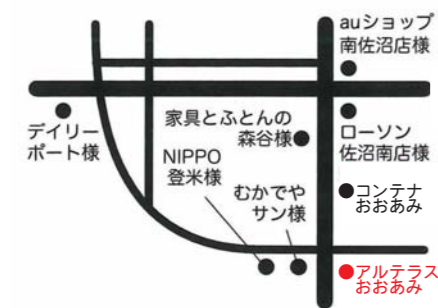


▲お気軽にご来館ください  
 スタッフ一同お待ちしております

**【名称】** とめ市民活動プラザ  
**【新住所】** 〒987-0511  
 登米市迫町佐沼字大綱390-15  
 (アルテラスおおあみ内)  
 ☎0220(44)4167  
 (FAX兼)  
**【開館時間】** 午前10時～午後6時  
**【休館日】** 毎週月曜日

とめ市民活動プラザは、10月1日から登米市迫町佐沼の大綱地区に移転して運営しています。  
 新たな施設では、これまで同様に低料金での印刷機の利用や無料でミールテイングルーム(20～30人利用可)を利用することができます。なお、各規定がありますので、詳しくはお問い合わせください。また、NPO・市民活動・コミュニティ活動について支援をしていますので、相談などありましたらお気軽に来館ください。

### 【地図】



▲無料で使用できるミーティングルームでは各種講座や団体交流会などを開催することができます

## Information 02

### とめ市民活動プラザが 移転しました

## 行政職員 (保健師)

### ■職種、採用予定人員など

試験区分	職種	採用予定人員	受験資格
上級(大学卒業程度)	保健師	1人程度	昭和55年4月2日以降生まれで保健師の資格を持つ人(平成28年4月30日までに取得見込みも含む)

※ 採用予定人員は、現時点での予定で今後変更することがあります。採用は、平成28年4月1日の予定です。

**■受験申し込み** 申込書と試験実施要綱は、平日の午前8時30分から午後5時15分まで総務部人事課で平成27年12月1日(火)から配布します。試験実施要綱は、ホームページにも掲示します。  
 郵便で請求する場合は、封筒の表に「職員採用統一試験申込書請求」と朱書きし、宛先を明記した120円切手が貼ってある返信用封筒(A4版が入る大きさ)を必ず同封してください。

**■受付期間** 平成27年12月1日(火)～12月16日(水)  
 ※申し込み受け付けは平日の午前8時30分から午後5時15分までとし、郵送の場合は受付期間中の消印のものに限ります。

### ■試験日程

	1次試験	2次試験
日 時	平成28年1月24日(日) 午前9時～	平成28年2月中旬から下旬予定
会 場	試験実施要綱または市ホームページでご確認ください	1次試験合格者に通知します
試験内容	教養試験(2時間)、一般性格判断検査(20分)	1次試験合格者に通知します
合格発表	平成28年2月12日(金) 市役所迫庁舎前掲示板、市ホームページに受験番号を掲示し、合格者に郵送で通知します	平成28年3月7日(月) 市役所迫庁舎前掲示板、市ホームページに受験番号を掲示し、合格者に郵送で通知します

## 任期付職員

### ■職種、採用予定人員など

職種	任期	採用予定人員	受験資格
税務申告相談	平成28年1月4日～3月31日	6人程度	学校教育法による高等学校の卒業生およびこれと同等以上の経歴を持つと認められる人。かつ通算3年以上公務員などとして、税務申告相談などの業務経験がある人
幼稚園教諭 または保育士	平成28年4月1日～平成30年3月31日	15人程度	幼稚園教諭と保育士の両方の資格を持つ人。かつ通算3年以上の保育などに関する業務経験がある人(週の勤務時間が20時間以上の勤務期間を実務経験とみなします)

※ 採用予定人員は、現時点での予定で今後変更することがあります。

**■受験申し込み** 申込書、職務経歴書および試験実施要綱は、平日の午前8時30分から午後5時15分まで総務部人事課で受付期間初日から配布し、市のホームページからもダウンロード可能です。郵便で請求する場合は、封筒の表に「登米市任期付職員採用試験申込書請求」と朱書きし、宛先を明記した120円切手が貼ってある返信用封筒(A4版が入る大きさ)を必ず同封してください。

**■受付期間** 税務申告相談 = 平成27年11月24日(火)～12月3日(木)  
 幼稚園教諭または保育士 = 平成27年12月1日(火)～12月16日(水)  
 ※申し込み受け付けは平日の午前8時30分から午後5時15分までとし、郵送の場合は受付期間中の消印のものに限ります。

### ■試験日程

	1次試験	2次試験
税務申告相談	試験内容 書類審査	試験内容 面接試験 日時 平成27年12月中旬予定
幼稚園教諭 または保育士	試験内容 書類審査	試験内容 作文試験、面接試験 日時 平成28年1月中旬予定

※ 2次試験は1次試験の合格者のみです。

**【申し込み・問い合わせ】**  
 総務部人事課(人事給与係)  
 〒987-0511  
 登米市迫町佐沼字  
 中江二丁目6番地1  
 ☎0220(22)2145



昨年度大賞の「まいたけ油麩はっと」(みやぎ東和開発公社林林館森の茶屋)

# 第12回日本一はっとフェスティバル

Information 03

市内外各地から“ホッと”するはっと料理が登米市に勢ぞろいします。地場産品販売コーナーやお楽しみ抽選会のほか、近隣地域の郷土料理が味わえるコーナーも設けます。また、姉妹都市である富山県入善町から入善町PR マスコットキャラクター「ジャンボール3世」も友情出演します。この会場でしか食べられない味もありますので、ぜひ会場にお越しください。

【日時】平成27年12月6日(日) 午前10時～午後2時  
 【会場】迫中江中央公園(登米市役所迫庁舎前)  
 【問い合わせ】第12回日本一はっとフェスティバル実行委員会事務局(産業経済部商工観光課) ☎0220(34)2734

■はっと出店者一覧

所在地	出店者名(35者)	はっと料理名
登米市	農家レストラン はっと亭	あずきはっと
登米市	佐藤商店	山形風牛芋煮はっと
登米市	登米町つか勇食堂	油麩はっと汁
登米市	南若寿司	登米産牛 牛筋入りモロヘイヤ塩はっと
登米市	ほほ笑	ずんだはっと
登米市	練みやぎ東和開発公社「森の茶屋」	まいたけ油麩はっと
登米市	南伊豆沼農産	赤豚カレーはっと
登米市	平町ファーマーズ	牛もつはっと
登米市	鮎信	海鮮はっと(塩味)
登米市	練竹花さとうフーズ	とん汁はっと
登米市	登米市地域婦人団体連絡協議会	かぼちゃ入りあんこはっと
登米市	チャチャワールドいしこし	牛スジはっと
登米市	ラーメンショップ太田家	とんこつはっと
登米市	登米市農産加工者連絡協議会	らーめん厨屋丈やプロデュース ベジタブル塩はっと
登米市	豊里町婦人会	ごまはっと
登米市	アダンの木	フカヒレハット
登米市	岩淵商店	ずんだはっと
登米市	伊東屋	ニラはっと
登米市	登米・南三陸Festival	Festival登米ちゃんはっと
登米市	マルニ食品練	まいたけと油麩のはっと汁
石巻市	西幸水産	カキはっと
石巻市	鈴木産業	牛タンスープはっと

所在地	出店者名	はっと料理名
大崎市	尾形商店	カキはっと
栗原市	大浩商店	きのこ汁はっと
塩釜市	(一社)たすけあいしぶき	奥の細道芭蕉汁
塩釜市	みやぎ野菜ソムリエの会	野菜ソムリエおすすめ! 仙台せり鍋はっと
仙台市	南マルトウ畜産	牛スキハット
仙台市	インド料理ザムザム	インドはっと
多賀城市	まるとう	五目あんかけはっと
美里町	チームのだや	特製鴨なんばんカレーはっと
南三陸町	南三陸志津川 松野や	南三陸海鮮はっと汁
南三陸町	キャッツエンタープライズ	南三陸海の宝石箱お宝海鮮ハット
岩手県	熊谷商店	ホルモンはっと
岩手県一関市	農家レストラン めくもり	カニぱっと
山形県	南後藤屋	いも煮はっと

■広域連携コーナー

所在地	出店者名(7者)	はっと料理名
大崎市	郷土の食文化研究・発信!「おおさき楽友会」	宮城野部屋直伝 なる子ちゃんご鍋
南三陸町	南三陸町	南三陸町産カキ汁
岩手県一関市	骨寺村荘園交流館「若神子亭」	黄金ねぎもち
岩手県奥州市	奥州はっと軒連会(練小山製麺)	奥州牛あんかけはっと
岩手県奥州市	奥州はっと軒連会(古都の遊食)	ずんだはっと、じゅうねぱっと
岐阜県土岐市	たから岐阜本店	台湾はっと
山形県最上郡	最上町観光協会	山形いも煮

Information 04

## 不動産を公売(期日入札)します

市税などの滞納により市が差し押さえた不動産の公売を実施します。  
 【公売日】平成28年1月19日(火)午前10時～10時30分(受付時間)  
 【公売方法】期日入札  
 【公売場所】市役所迫庁舎(1階会議室)  
 【公売公告】各総合支所の掲示板に公示しています。  
 ※公売公告には公売財産(物件)・見積価額、入札参加に伴う公売保証金、買受人についての資格、要件、その他公売条件などを記載しています。  
 【見積価額】公売公告をご確認ください。

認ください。  
 ※落札価額に不動産登録免許税が加算されます。  
 【買受適格証明書】公売財産が農地であることから、買受適格証明書の提出が必要となります。平成27年12月10日(木)までに公売財産の登記事項証明書、公売公告の写し、印鑑を持参の上、登米市農業委員会(中田庁舎1階)へ申請してください。  
 【申し込み方法】公売日当日、受け付けで入札参加申込票に必要な事項を記入の上、次の書類を提出後、公売保証金(見積価額の1割以上)を納付していただきます。  
 【提出書類】①個人〓本人であることが確認できる身分証(運転免許証の写しなど)①通、または住民票抄本①通②法人〓法人登記事項証明書、収入印紙200円③買受適格証明書④印鑑(認印でも可)  
 ※各証明書は発行後3カ月以内のもの  
 【問い合わせ】総務部収納対策課(徴収対策係)  
 ☎0220(22)2169

Information 05

## 市有財産(土地と建物)を売却します

市では、一般競争入札で市有財産(土地と建物)を売却します。

【財産売却一般競争入札案内書の交付】平成27年11月24日(火)～12月25日(金)の午前8時30分から午後5時15分まで(土曜日、日曜日、祝日を除く)、総務部総務課財産係(市役所迫庁舎2階)で交付します。

【申し込み方法】申請書に必要な事項を記入の上、必要書類を添付して持参してください。申込用紙は総務課で配布しているほか、市ホームページからもダウンロードできます。

【添付書類】①個人〓住民票、印鑑証明書、本籍地の市町村長の発行する身分証明書、身分証(運転免許証、健康保険証などの写し)各1通②法人〓法人登記簿謄本、印鑑証明書各1通  
 ※詳細については電話などでお問い合わせください。市ホームページにも詳細を掲載していますのでご覧ください。

【申し込み・問い合わせ】総務部総務課(財産係)  
 〒987-0511  
 登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1  
 ☎0220(22)2091

■売却物件

番号	所在地	区分	地目など	地積など	最低売却価格
物件1	登米市登米町登米字寺池上町23番7	土地 建物	宅地	403.94平方メートル	355万1,000円
物件2	登米市登米町日根牛字小池前5番2	土地	宅地	234.46平方メートル	182万8,000円
物件3	登米市津山町横山字本町33番 登米市津山町横山字本町34番10	土地	宅地 宅地	658.98平方メートル 56.67平方メートル 計715.65平方メートル	554万1,000円

市中学校新人総合体育大会(陸上競技)  
 平成27年10月7日

【100歳以上男子】①西條尊信(津山中)②菊地峻介(佐沼中)③小野寺叶多(佐沼中)  
 【100歳以上男子】①藤原優真(佐沼中)②藤浦駿佑(南の方)③及川文也(佐沼中)  
 【200歳以上男子】①藤原優真(佐沼中)②篠原パトリック(米山中2年)③瀬ヶ沼信介(米山中2年)  
 【400歳以上男子】①永浦瑞希(南の方)②油井永遠(佐沼中2年)③芳

賀俊哉(登米中2年)  
 【800歳以上男子】①狩野汰登(中田中1年)②小松健人(東和中2年)③星樹(新田中2年)  
 【1500歳以上男子】①佐藤天哉(米山中2年)②岩淵太洋(米山中2年)③佐藤和貴(津山中2年)  
 【3000歳以上男子】①齊本岳(中田中2年)②及川陽太(登米中2年)③佐藤天哉(米山中2年)  
 【100歳以上男子】①富士原優人(佐沼中1年)②松浦友樹(石越中2年)③松下裕哉(佐沼中1年)  
 【400歳以上男子】①佐沼中②米山中③中田中  
 【走り高跳び男子】①三浦電輝(佐沼中2年)②尾形颯弥(佐沼中1年)③

岩淵真翔(東和中2年)  
 【棒高跳び男子】①千葉星那(米山中2年)②芳賀康介(佐沼中2年)③小泉宗士(米山中1年)  
 【走り幅跳び男子】①及川文也(佐沼中2年)②千葉優輝(中田中2年)③石堂聖也(中田中2年)  
 【砲丸投げ男子】①但木亮太(新田中2年)②佐藤隆(中田中2年)③阿部憲悟(津山中2年)  
 【四種競技男子】①富士原優人(佐沼中1年)②松浦友樹(石越中2年)③高橋風馬(新田中2年)  
 【100歳以上女子】①唐橋あじ(東和中)②小出幸慧(東和中)③高嶋郁花(米山中)  
 【100歳以上女子】①小野寺史花(中

Information 06

## 副市長に藤井敏和氏が再任



平成27年9月市議会定期議会で議会の同意を得て、藤井敏和氏(63)が副市長に再任されました。  
 2期目の任期は平成31年10月31日までの4年間です。

Information 07

## 臨時福祉給付金の申請はお済みですか

市では臨時福祉給付金の申請を受け付けています。該当すると思われる人には本年8月初旬に申請書を郵送していますので早めに手続きをお願いします。

【申請期間】平成27年12月28日(月)まで(郵送の場合、当日消印有効)  
 【申請に関する問い合わせ】臨時福祉給付金専用電話  
 ☎0120(294)115

田中)②阿部志音(津山中)③佐藤桜桃(中田中)  
 【200歳以上女子】①阿部志音(津山中2年)②佐藤智乃(津山中2年)③山内日々佳(佐沼中2年)  
 【800歳以上女子】①主藤菜花(登米中2年)②千葉優真(東和中2年)③木戸浦小実(登米中2年)  
 【1500歳以上女子】①千葉奈々美(南の方)②唐橋あじ(東和中1年)③主藤菜花(登米中2年)  
 【100歳以上女子】①千葉かおる(石越中2年)②菅原千紜(中田中2年)③及川心海(佐沼中2年)  
 【400歳以上女子】①中田中②津山中③東和中  
 【走り高跳び女子】①小野寺史花(中

田中2年)②川口ゆりか(南の方)③伊藤ミナモト(南の方)④伊藤ミナモト(南の方)⑤山内藍子(中田中2年)⑥佐藤智乃(津山中2年)⑦西城愛菜(津山中2年)  
 【砲丸投げ女子】①佐々木まいか(豊里中2年)②及川沙希(新田中2年)③加藤のか(米山中1年)  
 【四種競技女子】①佐藤真恋(南の方)②倉島侑季(米山中2年)③佐々木楓香(豊里中2年)  
 【男子総合】①佐沼中②米山中③中田中  
 【女子総合】①中田中②津山中③東和中  
 【男女総合】①佐沼中②中田中③米山中



豊里

## 「やねだん」から地域再生学ぶ 10月18日

豊里コミュニティ推進協議会(阿部洋一会長)は、地域づくり講演会を豊里公民館で開催しました。  
鹿児島県柳谷集落(通称やねだん)を地域再生に導いた豊重哲郎さんを講師に招き、「感動と感謝のまちづくり」という演題で講演。やねだんでは「行政に頼らない村おこし」を掲げ、休耕地を利用したサツマイモの栽培などで地域再生した話や、「地域の人たちを引き出すには感動を与えること」と語り、その取り組みが紹介されました。

## 地域力、備えあれば憂いなし 10月17日

県防災キャンプ推進事業「西野地区水の里防災訓練」は米岡小学校で開催され、児童や教諭、地域住民など約600人が参加しました。  
訓練は震度5強の地震が発生したことを想定し、避難所設営訓練や自衛隊の協力による野営テント設営体験などを行いました。また、「昔の水害についてのお話」と題したパネルディスカッションでは、パネラーの体験談から「水害の町米山」の歴史をあらためて知ることとなりました。



米山



石越

## まるごといしこしまつり開催 11月1日

まるごといしこしまつりは、石越総合運動公園や石越体育センターなどで開催され、地区住民など約2千人が秋の祭りを楽しみました。  
屋内ステージでは、石越小・中学校吹奏楽部の演奏や神楽、民謡などが披露。屋外では、登米産牛肉の串焼き販売や無料の芋煮鍋が振る舞われました。  
祭りの最後にはお楽しみ抽選会が行われ、当選するたびに盛り上がりを見せ、充実した秋の祭典となりました。

## 老若男女、世代を超えて交流 10月3日

青少年のための登米市民会議南方支部(永倉美希子会長)は、南方農村環境改善センターで世代間交流事業「作って遊ぼう」を開催しました。  
南方地区の子どもからお年寄りまでが参加し、竹トンボや手袋での指人形づくりなどで交流。初めて体験するものづくりに、子どもたちは夢中になっていました。会場では「どん菓子」も作られ、「ド〜ン」と響きわたる大きな音に、子どもたちは飛び跳ねてビックリしていました。



南方



津山

## 雨にも負けない白熱した戦い 10月11日

第11回津山地区運動会が津山運動広場で開催されました。  
当日は、地区住民のほか南三陸町仮設住宅の皆さんもチームで参加し、8種目の競技で熱戦を繰り広げました。時折小雨の降る中での開催となりましたが、選手の皆さんが雨を吹き飛ばすくらいの白熱した戦いを見せると、応援席から大きな声援と拍手が送られました。  
競技の結果、石貝行政区が見事2連覇を達成しました。



迫

## 東京迫会の30周年記念総会 11月1日

東京迫会(横川祐喜会長)は、創立30周年記念総会を東京都中野区の中野サンプラザで開催しました。  
懇親会では、歌謡ショーやカラオケなどが行われ、大いに盛り上がりました。参加者は、各テーブルでふるさとの思い出話に花を咲かせたり、互いの近況を語り合ったりなど、終始和やかな雰囲気でお睦を深めました。  
今年の7月には、30周年記念事業として「ふるさと訪問ツアー」を実施。佐沼夏祭りなどを堪能しました。

## 安心・安全マップをつくろう 10月28～29日

登米小学校5年生41人が地域防災マップづくりに取り組みました。  
児童らは、災害の種類や過去の登米地域で発生した災害の被害状況をスライドやタブレットを使用し確認。グループごとに分かれて小学校周辺を歩き、災害時に危険な場所や役立つものなどを自分たちの目で確認し、地図にまとめました。完成した防災マップは校内に掲示し、他の学年の児童や来校した人への防災啓発に役立ちます。



登米



東和

## 恒例の祭りに2500人来場 10月31日

東和の秋まつりが東和総合支所特設会場で開催されました。  
小中学校の合奏や文化協会の発表、「さかえ里美」特別ショー、「郷友連合とめっきゅう」によるよさこい乱舞が披露され、大いに盛り上がりました。総合支所1階では、小中学校と文化協会の作品展示や、囲碁体験などが催され、来場した皆さんは、多くの素晴らしい作品をじっくりと鑑賞していました。

## 東北に伝わる伝統芸能を披露 10月10日

第9回登米市民文化祭に、伝統芸能子供教室に通う市内の小学生など15人が出演しました。  
この教室は「子どもに、東北に伝わる伝統芸能を体験させたい」と、熊谷流の熊谷多香踊さん(上沼)が開きました。文化祭では岩手県の伝統舞踊「さんさ踊り」を披露。子どもたちは本番直前まで緊張していましたが、舞台の上では堂々とした舞を踊りました。踊りを終えた子どもたちは、「もっと踊りたかった」「楽しかった」と話していました。



中田

10月29日までの3歳6カ月健診でむし歯のなかった子どもたち



鈴木 奏大くん (追町横丁) 佐々木 瑠也くん (追町古宿) 佐々木 理真くん (追町平柳) 佐々木 乃乃ちゃん (追町江合) 工藤 蒼生くん (追町萩洗) 小野寺 心絆ちゃん (追町横丁) 大森 麟太郎くん (追町平柳) 東 朋希くん (追町駒木)



千葉 寧々ちゃん (東和町米谷2区) 中山 琳里愛ちゃん (登米町駅前) 渡部 愛紗ちゃん (追町本田) 三浦 涼くん (追町山ノ神) 細川 美奈ちゃん (追町大形) 藤原 采篤くん (追町平柳) 樋口 紗歩ちゃん (追町江合) 千葉 萌々佳ちゃん (追町山の内)



堀内 来春ちゃん (中田町並書) 千葉 優樹くん (中田町並柳) 鈴木 緑くん (中田町茶畑) 菅原 岳くん (中田町金谷) 小野寺 瑠菜ちゃん (中田町浅水新田) 犬伏 みのりちゃん (中田町加賀野一) 阿部 悠翔くん (中田町本畑中) 浅野 滯緒ちゃん (中田町茶畑)



成田 智咲ちゃん (豊里町白鳥) 高橋 歩くん (豊里町浦軒) 志田 真乃介くん (豊里町下町) 佐々木 来翔くん (豊里町長橋) 今野 碧音くん (豊里町新町) 川村 一登くん (豊里町十五貫) 氏家 来航ちゃん (豊里町保手) 吉田 茅愛ちゃん (中田町館)




千葉 瑠香ちゃん (南方町沼崎) 佐藤 美桜ちゃん (南方町沢田) 熊谷 莉那ちゃん (南方町原) 熊谷 颯真くん (南方町細川) 千葉 もも華ちゃん (米山町の場) 千葉 真翔くん (米山町八軒小路) 佐藤 功征くん (米山町追土地) 村上 心菜ちゃん (豊里町横町)

### 歯科健康相談・妊婦歯科相談

市では、子どもから大人まで歯や口に関する悩みの相談を受け付けています。どなたでも無料で相談できます。お気軽にご相談ください。

**【開設日】** 毎月第1月曜日または第2月曜日  
**【時間】** 午前9時～11時30分 (予約が必要です)  
**【場所】** 市役所南方庁舎(1階相談室)  
**【相談料】** 無料  
**【相談医】** 歯科医師 佐藤 晶子 氏 (健康推進課 歯科保健指導専門監)  
 ※妊娠中の方は母子健康手帳をご持参ください。  
**【申し込み・問い合わせ】** 市民生活部 健康推進課(健康推進係)  
 ☎ 0220(58)2116




板垣 凜珈ちゃん (津山町本町一丁目) 渡部 来翔くん (南方町北本郷) 新山 晴琉くん (南方町釜)



須藤 航太くん (津山町本町三丁目) 大森 丸久くん (津山町石貝)

むし歯がなかった子は、市内9地区で64人中45人でした

一般向け

子ども向け

### PICKUP\_04 ワクチンX



桂 望実 / 著  
 仕事の成功や円満な家庭を願う人間にとって必需品だったワクチンがある日突然…。幸福とは何か語りかけます。

### PICKUP\_05 世界史が教えてくれる! あなたの知らない日本史



小林 智広 / 編  
 日本の事件や出来事を世界各国で起きた動きと関連づけて解説。日本史の新しい見方を提案します。

### PICKUP\_06 台所に敗戦はなかった



魚柄 仁之助 / 著  
 戦前・戦中・戦後の台所事情とは? 胃袋を満たすために、“あるものを利用した” おいしく食べる方法やレシピを紹介。

### Library Topics

## みんなの図書館

～利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします～

## 市立図書館(室)を臨時休館します

図書館情報システム更新のため、下記の期間、休館並びに貸し出しを休止します。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



### 【臨時休館期間】

- ① 迫図書館 平成 27 年 11 月 25 日(水)～12月3日(木)
- ② 登米図書館 平成 27 年 11 月 25 日(水)～11月30日(月)
- ③ 中田図書室 平成 27 年 11 月 25 日(水)～11月30日(月)

### PICKUP\_01 にゃんともクラブ



竹下 文子 / 作  
 ねこのともだちになることになった「ぼく」は…。ねこと親しくなるヒントがたくさん書かれています。

### PICKUP\_02 こころのえ?ほん 命はどうしてたいせつなの?



大野 正人 / 作  
 成長過程で訪れる「心の壁」に直面した時にどうしたら良いか。健やかな心を育む絵本。

### PICKUP\_03 One ワン



キャサリン・オートシ / 作・絵  
 乙武洋匡 / 訳  
 全米で15の絵本賞を受賞した名作! 数字と色を楽しみながら、勇気の大切さを学べます。

### 【貸し出し休止期間】

(この間は図書貸し出し・予約・検索を中止します。返却・閲覧・調査相談・複写サービスは行います)

- ① 迫図書館 平成 27 年 12 月 4 日(金)～12月6日(日)
- ② 登米図書館 平成 27 年 12 月 1 日(火)～12月6日(日)
- ③ 中田図書室 平成 27 年 12 月 1 日(火)～12月6日(日)

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など (中田図書室は祝日も閉館)  
 ※その他、館内整理など不定期での休館もありますのでお問い合わせください
- お問い合わせ 迫図書館 ☎ 22-9820  
 登米図書館 ☎ 52-5330  
 中田図書室 ☎ 34-8081

This Month Pick Up Hot Communication

☑ Books

☑ Health

☑ Young

☑ Dream

☑ Child

☑ Half Century

☑ One's Home



## Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

### 三塚 千紗さん

みつづか・ちさ 南方中1年  
南方町・峯

#### 栄養士という夢を追って

私の将来の夢は、管理栄養士になることです。小学校の授業で、栄養士の仕事を調べたことがきっかけで興味を持ちました。栄養バランスを考えて献立を作り、健康で元気な体を育てる仕事をかっこいいと思いました。給食の時間に訪れていただく栄養士の先生の話は、分かりやすいイラストや説明で、「本当に私たちのことを考えてくれているのだな」と、ありがたい気持ちになります。このような経験から、ますます栄養士になりたいと思うようになりましたが、私が思っていたよりも栄養士になることは難しく大変ということが分かりました。

これからも、自分の夢を追い続けて勉強や学校生活を頑張りたいと思います。

## Young

まちの若い衆

Monthly Hot Communication

### 齋藤 謙信さん(28)

さいとう・けんしん  
中田町・加賀野二

- ★身長と血液型 164センチでA型です。
- ★現在は 両親が経営しているミニストップ中田町石森店で働いています。休みは少なく大変ですが、人と接することが好きなので楽しいです。「お客さまの立場で考える」をモットーに頑張ります。
- ★自分の性格 明るいです。人見知りせず、すぐに打ち解けられます。
- ★趣味は ドライブと体幹トレーニングです。ドライブは、特に目的地を定めなくて、気の向くまましています。新しい店や道路など新たな発見が面白いですね。体幹トレーニングは、体にたるみが出てきたので始めました。効果が表れるとうれしいですね。運動は嫌いでしたが、好きになりました。
- ★休日は おいしいものを食べに行ったり、ショッピングしたりしています。岩手県にある「キッチンアンドウ」の料理がおいしかったです。
- ★理想の女性像 笑顔がすてきな人や家庭的な人。30代前半には結婚したいですね。
- ★今やってみたいこと 体を動かすことが好きになったので、ボードをしてみたいです。白銀の世界で風を感じながら滑るのは気持ちいいでしょうね。海外旅行もしたいです。特にイギリス。きれいな町並みやサッカーなどを観たいです。
- ★登米市について一言 若い人向けのファッションビルがあればいいと思います。まちの活性化にもつながるのではないのでしょうか。



## Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



つばさ  
三浦 翼くん(0)  
平成27年5月4日生まれ  
迫町・横丁  
聰さんの長男

翼が一生食べ物に困らず、幸せな人生を歩んでいけますように！  
お食い初めの日に最高の笑顔をお願い！

笑顔が家族みんなの宝物。わがまま妹にお兄ちゃんもたじろです。  
周りを幸せにする笑顔を忘れずに大きくなーれ！



りな  
坂部 里来ちゃん(2)  
平成25年5月2日生まれ  
迫町・永田  
和徳さんの長女

#### ～「わが家のアイドル」を募集～

3歳までの子どもたちを募集しています。ご家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。  
＜応募方法＞①氏名（ふりがな）・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者の氏名⑦コメント（50字程度）  
⑧写真データを添付し応募してください＜応募先＞総務部市長公室広報広聴係 〒987-0511 迫町佐沼字中江二丁目6番地1  
Eメール：koho@city.tome.miyagi.jp



佐藤 勉さん(72) 麗子さん(71) 豊里町・大曲 昭和37年1月入籍

夫婦一緒に楽しむことが田満の「ツ

★結婚当時の思い出は

【勉】20歳でお見合い結婚しました。家業である農業のほか、運送会社に勤務。沖縄以外は回ったので、道路には詳しいですよ。特に福岡県で観た朝霧に包まれたボタ山の風景がとても幻想的でしたね。

【麗子】米山町桜岡貝待井から嫁いで来ました。おしゅうとさんからいろいろ教えてもらい、勉強になりましたね。

★印象深い出来事は 【勉】ボランテアで水辺の公園にパークゴルフコースを造りました。楽しんでいる人たちを見るとうれいすね。 【麗子】子どもたちを連れて、動物園や海水浴に行ったことが思い出ですね。

★現在の楽しみは

【勉】パークゴルフ。みんなと一緒にプレイするのが楽しいです。

【麗子】シルバー人材センターで働いています。休憩時間におやつを食べたり、話をしたりすることが楽しいです。

★夫婦円満のコツは 【二人】夫婦で何かを楽しむこと。毎年、山形県尾花沢市に新そばを食べに行きます。

★やりたいこと 【勉】地区の豊里夏祭りや大運動会などをみんなで楽しくやっていたい。そのためには健康が一番ですね。 【麗子】生まれ故郷である中国の吉林省に行ってみたくすね。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

素晴らしいふるさとをもっと発信してほしい

私たち東京いしこし会は、他の町人会よりも遅く、平成6年11月に発足しました。東京麹町会館で行った設立総会には、250人の会員が集い、設立を祝いました。第22回目の今年の総会は11月8日、東京にある東天紅上野店で盛大に開催。歌や踊り、楽しい語らいなどでふるさとを懐かしみました。

私が中学生の頃は、母に言われてよくお使いに行きました。自転車にまたがりさっそうと出かけるのです。父が飲むお酒を近くにある石越醸造まで買いに行くこともありました。家族のために進んでし

一階堂 忠男さん(70)

登米市在京町人会連絡協議会役員、東京いしこし会会長 石越町(遠沢)出身



たお使いが、今では懐かしく楽しい思い出です。「澤乃泉」は広く世に知れ渡っています。昔はこんなにも有名になるとは思ってもいませんでした。そこには永年にわたる涙ぐましい努力と研究、東北人特有の「粘り」があったからこそ今日の繁栄があるのだと思います。ふるさとに帰ったときに飲むのはいつもこのお酒です。澤乃泉は、いつでも私とふるさとをつないでくれるありがたいお酒です。 また、登米市には何と云ってもおいしい「米」があります。「はつと」や「油麩」、神楽祭りもあります。多くの白鳥が飛来し、美しいハスが沼に広がります。ふるさとには素晴らしい物産や芸能、自然があるのですから自信を持って、もつともつと売り込んでほしいです。ふるさとの人々はあまりにも謙虚過ぎるようになってなりません。私たちにも大いに発信してほしいです。 東日本震災から4年8ヶ月が過ぎました。今もお懸命に復興に力を注いでいる市民の皆さまに対して、敬意を表します。私たちも微力ながら復興支援を行い、登米市発展のため今後も協力していきたいと思えます。

おらほの道の駅

道の駅みなみかた 「もっこりの里」



▲野菜づくり体験の様子

農業の担い手をじっくり育成

今月は、道の駅みなみかた「もっこりの里」の永浦敬悦隊長にお話を伺いました。 Q道の駅みなみかたの特徴や取り組みなどを教えてください。 A道の駅は、道路利用者のためのサービス提供と農産物の産地形成のため造られました。特に農産物の販売に重点を置き、産地づくりを図っています。販売品の約9割が農産物とその加工品です。地場産品を販売することで、地域のPRにつなげていきます。商品は販売するためには、生産する人が必要です。農家の高齢化により、将来的な生

産者の減少が課題。出荷してくれる人がいなくなるのではと心配です。その課題解決に向け取り組みしている事業が野菜づくりを体験する「もっこりアグリチャレンジ」事業。家庭菜園を楽しむ目的の参加者も歓迎しますが、これから本格的に野菜を生産、販売する人材をじっくりと育てるのが目的です。土づくりから収穫、販売まで体験します。気軽にご参加ください。 Q道の駅みなみかたのお勧めなものを教えてください。 A施設内にあるもち工房「杵つき館」では、市内で栽培されたもち米「みやこがね」を使

用した餅を販売しています。丹念につきあげたコシの強さが自慢。ずんだやあんこ、スイーツのようなバター餅など豊富に取りそろえていますので、ぜひお越しください。



↑4種の味が楽しめる「小町御膳」 ↑スイーツ感覚の「バター餅」

【問い合わせ】道の駅みなみかた「もっこりの里」 ☎0220(58)3111 ※今月から平成28年3月31日まで、営業時間が午前9時〜午後6時に変更となります。

短歌 まちの文芸

作品募集! ●1月号は俳句・川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、11月30日(月)までご応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。 ●応募者多数の場合選考して掲載します。

秋の日のもくもくランドは木の香良し 杉の木目の美しさを見る 湯けむりに集いし喜寿の古き友 米寿の会にも欠けじと誓う 町に越し空家となりし庭先に コスモスの花雨に濡れ咲く 産土の杜の太鼓も音絶えて さびしき語る友も逝きたり 羊年可愛がられし日々を去る 母なる国のオーストリアに

二ノ神武志 (迫) 相澤 志子 (東和) 小野寺典子 (中田) 熊谷てる子 (中田) 佐々木恒子 (中田)

荒ぶりし風去り残るコスモスの花に黄蝶のたどたとと飛ぶ ゆくりなく敬老祝いと娘たち 栗に玉蜀黍をあまた携え 手に唾を競い合うがに稲刈りしと 杖引く媼は昔を語る 草を引く背に染みそむ小ぬか雨 花にらの畦の今日はそこまで

折居由紀子 (米山) 千葉たかこ (米山) 水野トヨコ (米山) 三上久美子 (南方) 阿部 洋子 (津山)

応募総数 20 作品

# 健康

プレママも育児中のママも  
こんにちは 赤ちゃんサロン

妊娠中のこと、  
出産のこと、育児  
のこと、みんな  
ゆっくり話してみ  
ませんか。  
専門スタッフか  
らのアドバイスや  
健康情報など、実  
際に役立つ情報  
はもちろん、友  
達や育児仲間が  
できるチャンス  
です。  
ママも赤ちゃん  
もみんな楽しんで  
ひとときを過ご  
しましょう。  
【対象】妊娠中  
の人と1歳くら  
いまでの乳幼児  
とその家族  
【時間】午前10  
時～11時30分  
(受付時間：午  
前9時40分)  
【持ち物】親子  
手帳、筆記用具  
【スタッフ】助  
産師、保健師、  
保育士、栄養  
士、歯科医師、  
心理カウンセラ  
ーほか



## 12月の献血日程

- ①5日(土)  
▶イオンタウン佐沼  
10:00～11:45  
13:00～16:30
- ②15日(火)  
▶登米市登米防災センター  
10:00～12:00  
▶迫保健センター  
13:30～16:30



※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、ホームページをご覧ください。下記にお問い合わせください。

【問い合わせ】  
市民生活部健康推進課  
☎0220(58)2116

## 登米いのち ホットテレホン

はなそうとめ  
☎0120(870)108  
(登米市民専用)  
登米いのちホットテレホンは…  
○24時間いつでもかけられます。  
○名前を名乗る必要はありません。  
○電話相談員は、2年間の研修を終了し、認定された人たちです。  
○固定電話のほか、携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

## 子ども夜間安心コール

●電話番号  
#8000  
(ブッシュ回線の固定電話、携帯電話から)  
☎022(212)9390  
(ブッシュ回線以外の固定電話、PHSから)  
●相談時間  
毎日午後7時～翌朝午前8時

## 休日・夜間診療案内

休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応)  
☎0229(24)2267

インフルエンザは、例年12月～3月頃に流行し、いったん流行すると短期間で多くの人へ感染が広がります。予防、感染の拡大を防ぐには、一人一人の予防が大切です。

## インフルエンザをみんなで予防しましょう

★主な予防方法  
■手洗い・うがいをしましょう  
感染予防の基本です。手指についたウイルスを洗い出すため、せっけんをよく泡立て、両手の指、手の甲や手首などしっかりと洗いましょう。



■予防接種をする  
ワクチンを接種することで、インフルエンザにかかりにくくなり、かかっても重症化の予防が期待できます(接種することからかからないわけではありません)。

ではありません。高齢者や子どもは重症化しやすいので、なるべく予防接種をしましょう。  
■せきエチケットを心がけましょう  
インフルエンザの主な感染経路は、せきやくしゃみなどで発生する飛沫による感染です。このような症状がある場合は、マスクをしましょう。  
■適度な湿度を保ちましょう  
空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。加湿器などを使って適度な湿度(50～60%)を保つことも効果的です。  
■十分な休養とバランスのとれた栄養を摂りましょう  
体の抵抗力を高めるため、十分な休養とバランスのよい栄養摂取を日頃から心がけましょう。

## インフルエンザには 流行前の予防接種が効果的です



迫総合支所 武藤 加奈子 保健師 Kanako Muto

インフルエンザワクチンには、発症を抑える効果と、かかった場合の重症化を予防する効果があります。ワクチンの効果が期待できるのは、接種した2週間後から5カ月程度といわれています。予防に十分な免疫を保つため、毎年予防接種をしましょう。

## 【風邪とインフルエンザの違い】

	風邪	インフルエンザ
症状	鼻水やのどの痛みなど局所症状	38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状。鼻水、のどの痛みやせきなどの症状も見られます
流行の時期	1年を通してひくことがあります	例年12月～3月頃

## ■開催場所・日時・主な内容

開催場所	実施日	主な内容	
プレママクラス	平成28年1月20日(※)	お産の流れと3要素&母乳と子育て	
	平成28年3月9日(※)	心とトレーニング!思いを伝えるって	
ママ&プレママクラス	石越子育て支援センター	平成27年11月25日(※)	子どもの栄養&ママヨガ
	米山子育て支援センター	平成27年12月3日(※)	心の花を咲かせましょう&食育について
	津山子育て支援センター	平成28年1月13日(※)	子どもの心と体のコミュニケーション
	南方子育てサポートセンター	平成28年2月25日(※)	子どもの歯について&かんたん離乳食
	平成28年3月17日(※)	親子の絆づくり～タッチケア～	

## 心当たりのある人は至急相談 予防接種による副反応

予防接種後の副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障を残すような健康被害が生じたりした場合、予防接種法に基づく医療費・医療手当が支給される場合があります。心当たりのある人は早急にお問い合わせください。



## 高次脳機能障害者の 家族交流会を開催します

交通事故などにより高次脳機能障害がある人の家族が、日頃抱えている悩みや思いを語り合える場、お互いを支え合う関係をつくっていく場として交流会を開催します。  
【日時】平成27年12月11日(金) 午後2時～3時30分  
【場所】登米保健所(2階相談室)  
【アドバイザー】高次脳機能障害ピアカウンセラー 佐々木智賀子 氏  
【参加費】無料  
※事前の申し込みが必要ですが(受付時間11月曜から金曜日の午前8時30分～午後5時15分)。  
【申し込み・問い合わせ】登米保健所(母子・障害班)  
☎02220(22)6118

## 平成27年12月から ストレスチェックの 実施が義務になります

### ーストレスチェックの概要ー

【ストレスチェックの実施】  
▶常時使用する労働者に対して、年に1回、ストレスチェックを実施することが事業者の義務になります。  
▶ストレスチェックの調査票には「仕事のストレス要因」「心身のストレス反応」「周囲のサポート」の3領域を含みます。

### 【面接指導の実施】

▶高ストレスと評価された労働者から申し出があったときは、医師による面接指導を行うことが事業者の義務になります。  
▶事業者は面接指導の結果に基づき、医師の意見を勘案し、必要があると認めるときは、就業上の措置を講じる必要があります。



# 情報場 Information

## 募集

### 男女共同参画審議会委員 募集します

【募集人員】2人  
【応募資格】①市内に住所を有し、現に居住している②市の男女共同参画に関心のある③公共性の観点から意見を述べられる④市の職員および市議会議員でない人  
【任期】委嘱の日(平成28年2月10日)から2年間  
【役割】①男女共同参画の推進に関する計画の策定および変更に関する調査審議②男女共同参画の推進に関する意見や苦情に関する調査審議  
【会議回数】年3回程度  
【応募方法】次の事項を記載した「申込書」と「作文」を持参または郵送で企画部市民活動支



みください。

【申し込み・問い合わせ】市民生活部環境課(生活環境係)  
☎ 0220(58)5553  
☎ 0220(58)3345  
✉ kankyo@city.tome.niyagi.jp

### 公共事業再評価に関する 意見を募集します

県では、公共事業再評価に関する資料を公表し、皆さん

市営住宅・定住促進住宅入居者を募集	
募集する住宅	
①市営住宅	石越駅前第二住宅7号(石越町南郷字小谷地前126番地1) ▶募集戸数=1戸(3K)/家賃月額1万3,200円~1万9,600円/駐車場なし
	豊里下町住宅4号(豊里町町浦301番地1) ▶募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額2万3,600円~3万5,200円/駐車場あり
②定住促進住宅	豊里定住促進住宅1号棟203号(豊里町小口前185番地4) ▶募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=3万500円/駐車場利用は1台まで

【入居資格】住宅に困っている世帯。※市営住宅は低所得世帯であること、定住促進住宅は一定以上の所得があることなどの要件があります。詳しくは住宅都市整備課、または各総合支所市民課へお問い合わせください。  
【申込期限】平成27年12月7日(月) ※期限厳守  
【申し込み先】各総合支所市民課または建設部住宅都市整備課(市役所中田庁舎2階)  
【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅管理係) ☎ 0220(34)2316  
※郵送による申し込みは受け付けできません。

援課に提出してください。  
①住所・氏名・電話番号・性別・生年月日②職業・勤務先③経歴(職歴・学歴等参考となる事項)④地域における活動の状況⑤応募動機  
※申込書は企画部市民活動支援課に備え付けてあるほか、市ホームページに掲載しています。任意の様式でも可です。※作文は「男女共同参画社会」と題し、400~800字程度。様式の定めはありません。  
【応募期間】平成27年11月20日(金)~12月21日(月)必着  
【応募先・問い合わせ】企画部市民活動支援課(市民協働推進係) 〒987-1051 1 登米市迫町佐沼字中江2丁目6番地1  
☎ 0220(22)2173

### 非常勤職員・臨時職員 パート職員登録者を募集

市では、平成28年度の非常勤職員、臨時職員、パート職員の登録者を募集します。  
※過去の登録者も再度登録が必要となります。  
【職種】保育士、児童館・子育て支援指導員、幼稚園講師、教員補助員、看護師、准看護師、介護福祉士、看護助手、運転業務員、事務補助員など

の意見を募集しています。  
【対象事業】地域高規格道路宮城県北高速幹線道路主要地方道築館登米線Ⅱ期(中田工区)道路改良事業、同Ⅲ期(佐沼工区)道路改良事業  
【資料公表場所】県政情報センター(県庁地下1階)、各地方振興事務所(仙台以外)県政情報コーナー、県議会図書室(県議会庁舎)、県ホームページ(http://www.pref.niyagi.jp/site/hyoka/)  
【提出方法】平成27年11月30日(月)(消印有効)までに、郵送、ファクシミリまたはEメールで提出してください。  
【提出先・問い合わせ】県震災復興・企画部震災復興政策課 〒980-18570(所

【登録の方法】登録申請書に必要事項を記入し、総務部人事課まで持参または郵送してください。また、市ホームページからインターネット(電子申請)による登録もできます。※保育士や看護師など、資格を要する職種を登録する場合は、その資格証の写しを添付してください。  
【登録申請書請求方法】総務部人事課、医療局総務課、各総合支所窓口にて備え付けてあります(市ホームページからもダウンロード可)。  
【受付期限】平成28年4月から任用を希望する場合は、平成27年12月28日(月)までに登録してください(郵送の場合必着)。  
【任用方法】任用者は、登録された人の中から必要に応じて選考し決定します。  
【申し込み・問い合わせ】総務部人事課 〒987-1051 1 登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1  
☎ 0220(22)2145

### 犬との楽しい生活のため 家庭犬しつけ方教室

【対象】市民およびその愛犬(体格は中型まで)  
【内容】実技指導やしつけ方

在地記載不要)

☎ 022(211)2406  
☎ 022(211)2493  
✉ seisakukiken@pref.niyagi.jp

### 災害公営住宅(平成27年 追加建設分)入居者募集

【住宅名(所在地)】迫西大網第二住宅(登米市迫町佐沼字大網地内)  
【構造】集合住宅(一部2階建)  
【募集戸数】24戸(内訳/2DK=22戸、3DK=2戸)  
【有料駐車場】各戸1台のみ  
【入居予定】平成28年中  
【入居資格】東日本大震災で被災した市民および市外で被災して登米市へ避難し定住を

【るるば】パソコン講習会受講生を募集  
●文書作成初級講習(word2013)  
【日時】平成27年12月10日(木)・11日(金)、17日(木)・18日(金) 午後1時30分~3時30分  
【場所】南方住居情報センター(南方庁舎2階)  
【定員】各18人(先着順)  
【参加費】千円程度(テキスト代含む)  
※内容など、詳しくはお問い合わせください。  
【申し込み・問い合わせ】南方住居情報センター「るるば」(平成27年11月25日(水)午前9時から受け付け開始) ☎ 0220(58)5557

### 今月の夜間相談窓口

【日時】11月26日(木) 午後8時まで  
【場所】市役所迫庁舎(1階)総務部収納対策課  
【問い合わせ】総務部収納対策課(徴収対策係) ☎ 0220(22)2169

日時場所	月日	地区	場所	時間
	平成27年12月5日	米山	吉田公民館	10:00~12:00
	平成28年1月30日	中田	石森ふれあいセンター	
	平成28年2月20日	迫	迫公民館	

【申込期限】各開催日の3日前(定員になり次第締め切りとなります)

【申し込み方法】電話、ファクシミリ、電子メール(ファクシミリ、電子メールの場合は、氏名、住所、電話番号、受講希望地区、愛犬の名前を記入の上、「しつけ方教室受講希望」と明記してお申し込み

希望する人で、①住居が全壊・全流失または、大規模半壊、半壊となり住宅を解体した世帯(り災証明で震災時の世帯を確認します)②現在、仮設住宅や応急仮設住宅(みなし仮設)に入居中または、居住不可能な住宅に間借りをしている世帯(すでに一般のアパートなどに入居している場合は対象外)③生活再生支援金(加算支援金)を受給していないこと④入居者全員に市税の滞納がないこと⑤申込者または同居予定者が暴力団員でないこと  
※震災発生時に登米市内に居住(住所を有する)していた世帯が優先されます。また、身体障がい者がいる世帯、70歳以上のみの世帯、18歳以下の子どもがいる母子・父子世帯、小学校就学前の子どものいる世帯は優先世帯となります。※他市町村で災害公営住宅へ入居が決定している場合、重複申し込みはできません。詳しくはお問い合わせください。  
【申し込み受付期限】平成27年11月20日(金)~12月18日(金) ※期限厳守  
【問い合わせ】住宅都市整備課(住宅管理係) ☎ 0220(34)2316

エネルギーに夢をのせて  
KUMANEN 熊谷燃料住設株式会社  
災害時安定供給施設  
■アクアショップKUMANEN ■BFCクマネン  
■コインランドリー 清潔空間 ■なごみの家 きらり  
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字北畝田120番1  
TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732  
http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

確かな技術で まかせて安心  
電気工事・オール電化工事・電気通信工事  
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検  
有限会社 五島電機  
登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1  
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

デイサービス 南方町大門にオープン!!  
大門いこいの広場  
「大門いこいの広場」は、ゆったり、のんびりできる自由な雰囲気。まるで自分の家で過ごしているような「アットホーム」なデイサービスです。  
お泊りもできます!  
見学も随時受付中!!  
お気軽にお電話ください TEL.(0220)23-9541 登米市南方町原5番地  
中田町上沼 大柳デイサービス TEL.(0220)34-8778 株式会社 サーパス 〒987-0413 登米市南方町原5番地 TEL.0220-58-5384 FAX.0220-44-4021  
迫町佐沼 大錦デイサービス TEL.(0220)23-9339

七十七銀行ATMなどの休止のお知らせ 広告  
七十七銀行では、平成28年1月4日に新システムへの移行を予定しており、下記の期間において、ATMなどすべてのオンラインサービスを休止させていただきます。  
平成27年12月 平成28年1月  
30日 31日 1日 2日 3日 4日  
水 木 金・祝 土 日 月  
通常営業 ご利用いただけません(休止期間) 通常営業  
くわしくは当行ホームページをご参照ください。 しちじゅうしち 検索

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。



## 登米祝祭劇場 12月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
1(※) ~ 25(金)	●シューズソルト絵手紙展 「一葉のプレゼント」 【時間】午前10時~午後5時 (25日は正午まで) 【会場】2階レストラン 【入場料】無料	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
5(土)	●トルティージャ ギター教室発表会&ギター・ ハーモニカ ミニコンサート 【開演】午後2時 【会場】小ホール 【入場料】500円	トルティージャ ☎ 0220(29)6618
6(日)	●第21回登米市合唱祭 【開演】午後1時30分 【会場】大ホール 【入場料】無料	登米市合唱連盟 ☎ 0220(34)2005
13(日)	●宮城県知事賞争奪戦 第16回股旅演歌舞踊全国大会 【開演】午前10時 【会場】大ホール 【入場料】2,500円	同実行委員会 ☎ 090(5830)2854
23(※)	●第3回高校生バンドコンテスト 【時間】午後1時 【会場】小ホール 【入場料】無料	同実行委員会 ☎ 090(1375)1600

※12月の休館日=7日、14日、21日、28日~1/4。  
※催し物は主催者のご都合により変更や中止になる場合があります。

### 11月25日~12月1日は 「犯罪被害者週間」です

【被害者相談窓口】  
◆性犯罪被害者相談窓口 022(221)7198  
◆いじめ110番 022(221)7867  
◆少年相談電話 022(222)4970  
◆少年サポートセンターせんだい 022(266)8655  
◆環境犯罪・悪質商法相談電話 022(261)1110  
◆銃器・覚せい剤110番 022(266)1074  
◆暴力団110番 022(266)0110  
◆警察相談専用電話 #9110 022(266)9110、022(227)4110

【警察以外の被害相談窓口】  
◆仙台地方検察庁犯罪被害者支援ホットライン 022(222)6159  
◆宮城県犯罪被害者支援のための総合相談窓口 022(211)3783  
◆(公社)みやぎ被害者支援センター 022(301)7830  
◆けやきホットライン(性暴力被害相談支援センター宮城) ☎ 0120(556)460  
◆(公社)宮城県暴力団追放推進センター ☎ 0120(818)930

佐沼警察署・登米警察署

<p><b>株式会社 清建</b></p> <p>環境プロバイダ</p> <p>本社/〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋212-3 TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658</p>	<p>有限会社 <b>リースキン宮城</b></p> <p>TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495</p> <p>〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江2丁目21(中江ビル)</p>	<p>厚生労働大臣許可 指定居宅サービス事業所</p> <p>有限会社 <b>はさま看護婦・家政婦紹介所</b></p> <p>すずらん託児室</p> <p>TEL.0220-22-8064 FAX.0220-23-2728</p> <p>〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江2丁目21(中江ビル) 【すずらん託児室】TEL.0220-22-7755</p>
---	---	--

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

## お知らせ

**平成28年版みやぎ手帳  
販売します**

【内容】月間予定表と日記、最新の統計資料、仕事・生活に役立つ資料、わたしたちのふるさとの資料

【価格】500円(税込)

【販売方法】各総合支所市民課で販売。取扱時間は午前8時30分~午後5時15分(土曜、日曜、祝日を除く)

【販売期間】平成27年12月16日(水)~28日(月)

【問い合わせ】企画部企画政策課(企画政策係)  
☎ 0228(34)3050  
または各総合支所市民課(地域係)

**宝くじ助成で防災用品を整備しました**

上館町内会自主防災会(登米町)が、平成27年度コミュニティ助成事業(宝くじ助成事業)で、防災活動に必要な備品を整備しました。

この事業は、(一財)自治総合センターが宝くじ受託収入を財源に、コミュニティ組織などの健全な発展と宝くじの



【購入備品】車イス、サークルライト、リヤカー、簡易トイレ、毛布、工具箱、ラジオ、ウォータータンク、ヘルメット、チェーンソー

社会貢献広報を目的として実施しています。

**税金の納め忘れは  
ありませんか**

皆さんが負担している税金は、教育、保健衛生、消防などさまざまな行政サービスのほか、復旧・復興事業にも使われており、私たちの暮らしを支える大切な財源です。

県と市では、税金を公平に負担していただくため、11月から12月を「宮城一斉滞納整理強化月間」として、税金を滞納している人に対する徴収対策を強化します。

期間中は、税金の滞納者に対し自宅への電話催促や勤務

**一人で悩まないで  
女性に対する暴力**

11月12~25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。夫やパートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシャル・ハラスメント、ストーカー行為など、女性に対する暴力は女性の人権を著しく侵害するもので、決して許されるものではありません。

宮城県東部地方振興事務所  
登米地域事務所(農業振興部地域調整班)  
☎ 0220(22)3535

## ねんきんだより

公的年金などの源泉徴収票を交付

老齢年金は、所得税法上で「雑所得」として所得税の課税対象になっていません。65歳未満でその年の受給額が108万円以上や、65歳以上で158万円以上の人は、原則として所得税が課税されます。この年金額より少ない場合は所得税の源泉徴収はされませんが、他の公的年金や年金以外の所得がある場合は課税されることがあります。

老齢年金を受給している人には、1月中に前年分の「源泉徴収票」が送付されます。

確定申告などの際に添付書類として必要となるので、大切に保管してください。

なお、障害年金や遺族年金は課税の対象とならないため、源泉徴収票は送付されません。万が一、源泉徴収票を紛失した場合や届かない場合には、ねんきんダイヤルで再交付の受け付けをしています。

【ねんきんダイヤル】  
☎ 0570(05)1165

※お問い合わせの際は、基礎年金番号が分かるものをご用意ください。

【問い合わせ】市民生活部 国保年金課(年金医療係)  
☎ 0220(58)2166  
古川年金事務所  
☎ 0229(23)1200

## 相談

先・取引先などへの財産調査、預金・給与・不動産などの差し押さえ、自動車のタイヤロックなど徴収対策を集中して実施します。

【問い合わせ】▼宮城県東部県税事務所登米地域事務所  
☎ 0220(22)6114  
▼総務部収納対策課  
☎ 0220(22)2169

「みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度」に係る説明会を開催します。  
【日時】平成27年12月10日(木)

**安全・安心な農産物の  
生産を支援します**

男女が互いの人権を尊重し合い対等な関係が築けるよう、男女間のあらゆる暴力を根絶しましょう。一人で悩まないで、まずご相談ください。

【ハートほっとダイヤル】  
☎ 0220(58)2128

※相談の受付時間 月~金曜日(祝日および年末年始を除く) 午前9時~午後4時30分

活での困りごとや行政手続きなどで分からないなどがあった場合の相談を無料で行っています。

【開設日時】月・水・金曜日(祝祭日、年末年始を除く) 午前9時~午後4時

※始めに電話で受け付けをしてください。開設日以外でも受け付けます。

【開設場所】登米市国際交流協会(登米総合支所内)

【対応言語】中国語、韓国語、英語、日本語

【問い合わせ】登米市国際交流協会  
☎ 0220(52)2144

**ご利用ください  
『外国人相談窓口』**

市では、市内で生活する外国人の皆さんや家族を支援するため、相談窓口を設置し、生

思いやりと真心を感謝の気持ちにこめて 広告

迫町佐沼中江にセレモニーホールオープン!!

**さぬま中江齋苑** (ツルハドラック佐沼店様前)

衣駐車場 80台

病院からの搬送、直接ホールに入れます。

一式葬儀料金 **20万円** 以下

どこよりも安心・安価

株式会社 **誠香社**

24時間電話受付  
**23-9270**

安心・安全・安価で予約承り中 広告

お料理 2,000円より承ります (バス送迎無料)

株式会社 **刺蒸くまがい**

■本社/登米市中田中学校通り TEL.0220-34-5002(代)

■総合センター/中田総合支所通り TEL.0220-34-8707

■花泉営業所/一関市花泉町駅前通り TEL.0191-82-2946



# 阿部大夢

第8回BFA  
U・15アジア選手権準優勝  
仙台育英学園秀光中3年  
中田町茶畑出身

Hiromu Abe



第8回BFA U・15アジア選手権は10月8から12の5日間、静岡県伊豆市志太スタジアムで開かれ、侍ジャパン U・15代表は3大会連続となる準優勝の栄誉に輝いた。阿部は「準優勝という結果は誇れるものだが、満足はしていない」ときっぱり。このカテゴリーで、史上最強と言われたチームの目標は優勝。達成できなかったことに悔しさをにじませる。

全国中学校軟式野球大会の激闘から5日後、チーム練習終了時に部員全員が集められた。須江航秀光中監督から、侍ジャパンへのメンバー入りが告げられた。野球人なら、誰もがあこがれる白の縦じまユニホーム。断る理由はどこにもなかった。「本当にうれしかった。こんなチャンスを断る野球人はいないはず。偶然かもしれないが、渡された背番号はチームでも付けている10番。自分の中でいろんな意味を感じた」と話す。

それから2日後、千葉県船橋市で代表合宿が開かれ、副将を任せられた。チームでは主将を務め、人をまとめることには長けている。「集まったメンバーは、全員が各チームの中心選手。個性は強いが、『優勝』に向けてすぐにまとまった」と振り返る。

万全の準備で向かえた初戦。相手は優勝候補の一角、韓国。2番、捕手で出場した。「韓国、台湾は、気を抜いたらすぐにやられると監督に言

われていた。しかし、自信を持って臨めと送り出され、スッチが入った」と初の国際試合にも臆することなく臨む。初めて歌う試合前の国歌の感動も、マスクを被った瞬間に忘れ、試合に集中した。試合は投打がかみ合い、13・0の5回コールド勝ち。自身も4打数1安打、進塁打2と2番の仕事をごなし、守っては抜群のリードで無失点勝利に貢献した。「初戦をよい形で勝利し波に乗った」

「メダルを獲れてうれしい。でも、優勝できなかった悔しさもある」と語る及川。第46回ジュニアオリンピック陸上競技大会は10月23から25までの3日間、神奈川県横浜市の日産スタジアムで開催された。陸上競技A女子1000メートルハードルに出場した及川は、14秒22のタイムを出し、2位入賞を果たした。

及川は今年、国内の主要大会である全日本中学校陸上競技選手権大会と国民体育大会に出場。全中では4位入賞と、あと一歩でメダルを逃し、今大会では3位以内の入賞を目標に掲げていた。

1000メートルハードルは、一般にハードルとハードルの間を3歩で走る。全中と違いジュニアオリンピックや国体では、ハードルのインターバルが50センチ長くなる。昨年11月に短距離からハードルへ転向した及川にとって、歩幅を調整することは未知への挑戦であった。

「何を練習したらいいのか」と迷いつつも、徐々にハードル間の距離を延ばし、反復練習をすることで、頭での理解と体の動きが連動。スムーズなハードリングができるようになった。

全中から約1週間後に開かれた県選考会では、1位で出場権を獲得した。9月26日から開催された国体では、自己ベストの14秒04を記録。今大会での3位以内入賞は、手に届くところまでできていた。

「何を練習したらいいのか」と迷いつつも、徐々にハードル間の距離を延ばし、反復練習をすることで、頭での理解と体の動きが連動。スムーズなハードリングができるようになった。

迎えた本番。「彼女は気持ちのコントロールがうまい」と話す顧問の鈴木。程よい緊張を保ったまま、予選、準決勝を1位で通過した。決勝では、1回目のスタートで隣の選手がフライング。次にフライングをした選手は失格というブレッシャーの中、この日一番のスタートを見せる。しかし、他の選手も負けておらず、先行を許す。2台、3台と跳んでも追い付けない。焦ったが、後半追い込み形なので、自分

を信じて走った」と、見事な追い上げを見せた2位入賞。中学校生活集大成の大会で輝かしい成績を残した。ここまでこれたのは、「先生や友だち、家族の支えがあったから」と感謝の気持ちを語る。

高校のハードルは、中学と比べ約8センチ高い。今はずでにその課題と向き合っている。高校での目標は「13秒台でインターハイ入賞」と語る及川。見事なハードリング同様、目標を跳び越えていくだろう。

Yuka Oikawa



# 及川優花

第46回ジュニアオリンピック  
陸上競技大会  
陸上競技 1000メートルハードル2位  
中田中3年 中田町本町畑中

# 笠原奈菜

Nana Kasahara



国民体育大会

陸上競技 棒高跳び7位

佐沼高3年 迫町下舟丁

「集大成の大会で結果を残せて本当によかった。支えてくれた先生たちや仲間、家族に少しは恩返しできたと思います」と笑顔で感謝の気持ちを語る。

9月26日に開幕した第70回国民体育大会「2015紀の国わかやま国体」。陸上競技少年女子共通棒高跳びは、和歌山県和歌山市紀三井寺公園陸上競技場で開かれ、笠原は3メートル50を跳び、見事7位入賞を果たした。

笠原が棒高跳びと出会ったのは、佐沼中2年の時。当時は短距離の選手だった。陸上部の顧問が棒高跳びの練習をしているのを見て興味が沸いた。ポールを借りさっそく試す。短距離では味わえない躍動感に笠原は夢中になった。こうして棒高跳び選手、笠原奈菜は誕生した。転向してまもなく、笠原の才能は一気に開花した。中学3年で3メートル20、高校進学直後には、県春季大会で3メートル31

と、2年連続で県記録を更新。高2年の夏、県選手権大会では自己ベストの3メートル60をマーク。県内はおろか、高校女子棒高跳び界で、その存在を知らぬ者はいなくなった。そんな矢先、アクシデントが笠原を襲う。大きな飛躍を期待された2年の国体で、踏み切りを失敗。けがはなかったものの、マットに体を叩きつけられた。そこで生まれた恐怖心は、笠原から自由な跳躍を奪った。

「この種目の一番の敵は恐怖心。大丈夫と思って助走を始めても、踏み切りのときに怖さで思い切れなくなりまして」。コーチからは「自身のメンタルの問題。自分で乗り越えなければならぬ壁だ」と言われるも、気持ちも足も踏み切れず、毎日時間だけが過ぎていった。

「このままでは終われない」。本年4月から初心に帰り、砂場での練習を開始した。自分でやらねば意味がない。メニューは自分で考えた。それから1カ月、マットでも不安なく跳べるように。少しずつですが、恐怖心が消えていきました。失敗から半年、心身ともに見事に踏み切り、入賞を果たしたのだ。

「国体での目標は入賞だったのうれしかった。気を緩めなければ5メートル80を跳べたので、その点は反省している」と更なる高みを目指す高橋。

「2015紀の国わかやま国体」。自己ベストを更新する5メートル78を跳び、6位入賞を果たした。

この会場は、7月28日から8月20日まで開催されたインターハイと同じ競技場。5メートル67の自己ベストを記録するも予選敗退した記憶がよみがえ

る。自分では決勝に残れる力があると自信があった分、周囲の雰囲気にも飲まれ、実力を発揮できなかった悔しさが大きかった。インターハイ後は、国体に向けて先生やコーチの指導の下、助走スピードのアップと、着地のタイミングに重点を置き調整。助走スピードは0.1秒短縮し、空中での体勢をキープすることで記録を伸ばすことができた。「必ず入賞する」という気持ちに迷いはな

く、周囲は気にせず集中を高めた。「予選1本目と3本目が緊張する」と話す高橋。さまざまに集中力で3本目に自己ベストを1センチ更新した。そんな高橋を精神的に支えているのは家族の存在が大きい。「家族は、遠くの大会にも足を運び見守ってくれている。いつも週末や休日には練習に付き合ってくれるが、私にストレスを与えないよう陸上の知識などは、あえて勉強していない。その分、母は食

事の管理や笑顔で元気をくれる。私を支えてくれていた家族や先生、コーチへの恩返しのためにもしっかり記録を伸ばしていきたい」と笑顔で話す。明るい笑顔の裏には苦悩もあった。昨年の国体前に腰椎分離症を発症。完治するまでに3〜4カ月。その間は、上半身や太ももの強化のため、筋力トレーニングを重点的に取り組んだ。このケガが原因で、今も腰に疲労がたまりやすく、大会明けには痛みが続く。

しかし「跳ぶことは気持ちよくて楽しい。もっと筋力をつけて、ケガに負けない体を作っていきたい」と明るく話す。「当面の目標は来年の県総体で自己ベストを出し、大会記録を塗り替えること。さらにその先は6メートル以上を跳び、インターハイで3位以内に入賞すること」と笑顔の奥に秘める真の強さを見せる。無限の可能性を秘めた1年生は、これから大きくはばたく。

Mizuki Takahashi



# 高橋瑞希

国民体育大会  
陸上競技 走り幅跳び6位  
佐沼高1年 南方町新高石

# ときめき人

Tokimeki bito



## 長年にわたり少年の非行防止に貢献。少年補導 栄誉金章を受章

迫町・新町

### 永埜 正勝さん

ながの・まさかつ  
1947年生まれ 血液型/O型

#### Profile

1998年から佐沼地区少年補導員協会会長、2013年から県少年補導員協会副会長を務める。佐沼中学校を卒業後、農業経営の傍ら農機具店に勤務。小さい頃から機械が好きで小学生の時は、農機具や車を見るとその場から動こうとしなかったほど。趣味は温泉巡りとカメラ。子どもは男2人、女1人。平成元年に永埜機工を設立し、妻と息子2人の4人で経営している。

「家庭や地域で少年の非行防止」をスローガンに、1984年から佐沼地区少年補導員として活動。長きにわたり少年の非行防止や健全育成に貢献したとして、少年補導栄誉金章を受章しました。金章は各都道府県から1人程度しか与えられない栄誉のあるもの。6月18日、東京で開かれた少年補導功労者・功労団体表彰式で金高雅仁警察庁長官から表彰状と金章が贈られました。

「佐沼地区少年補導員の皆さんや家族の協力があったからこそ続けることができました」と感謝の気持ちを言葉に込めました。永埜さんが活動するときは、仕事を家族で分担しました。「家族の協力が一番」と笑顔で語ります。

補導員としての主な活動は街頭指導。公園やゲー

ムセンター、スーパーなど子どもたちが立ち寄りそうな場所を警察官や補導員とともに巡回し、声掛けをしています。また、小学校や幼稚園に出向き、寸劇や指人形劇などで犯罪を未然に防ぐ方法を指導しています。

補導員になったのは、当時の行政区長から勧められたのがきっかけ。民生委員や消防団員も兼務していた時は仕事と行事が重なることも。しかし、辞めようとは思いませんでした。「子どもたちが犯罪や非行に走らないようなまちをつくりたい」という強い思いがあったからです。

補導員は70歳で定年。永埜さんは定年まで続け、「子どもたちが犯罪に走らないように見守っていきたい」と、今日も街頭指導に出掛けます。

## 編集後記

▼ラグビーW杯が終了。今大会での日本代表の活躍は本当に素晴らしかった。強豪南アフリカを相手に勝ち切った瞬間、鳥肌が立った。記憶と記録に残る名勝負だった。トゥー・ミーも皆さんの記憶と記録に残るものにした。 (及川)

▼11月5日、「市民参加の新たな森林づくり植樹祭・秋」の取材に行ってきました。当日は、米川小学校の生徒などがヤマザクラの苗木を植えたり、ドングリをまいたりしました。紅葉した山々と天高く広がる青空。清々しい山の空気をいっぱい吸い込みながら、秋の自然を満喫してきました。 (佐藤)

▼日々パソコンにとらめっこしながら、広報の編集をしています。取材で外に出ると、無邪気な子どもたちの笑顔に心を癒されたり、活発な人から元気をもらったりと、また頑張ろうという気持ちになります。だんだん寒くなりますが、どんどんまちに練り出していきたいと思います。 (田代)



モバイルとめ  
(携帯電話版ホームページ)  
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス  
(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)  
<http://tomecity.mail-dpt.jp/>